SONY

4-459-611-**07**(1)

ソリッドステート メモリーカムコーダー

PMW-F55
PMW-F5

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2013 Sony Corporation

目次

概要

本機の特長 6
システム構成例 9
各部の名称と働き 10
画面表示 16
サブディスプレイ画面 16
ビューファインダー画面 18

準備

電源 22
バッテリーパックを使う 22
AC 電源を使う（DC IN 電源） 23
時計を合わせる 24
機器を取り付ける 24
レンズを取り付ける 24
ビューファインダーを取り付ける 26
本機の基本動作を設定する 27
システム周波数 27
撮影モード 27
本線記録信号 27
カラースペース 28
イメージャースキャンモード 28
記録フォーマット 28
SxS メモリーカードを使う 29
SxS メモリーカードについて 29
SxS メモリーカードを入れる 29
SxS メモリーカードを取り出す 30
使用する SxS メモリーカードを切り換える 30
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する 30
残りの記録可能時間を確認する 30
SxS メモリーカードを修復する 31
SD カードを使う 32
本機で使用可能な SD カード 32
SD カードを入れる 32
SD カードを取り出す 32
SD カードをフォーマット（初期化）する 32
残容量を確認する 32

AXS-R5 を使う 33
AXS-R5 を取り付ける 33
AXS-R5 を取りはずす 34
AXS メモリーカードを入れる 34
AXS メモリーカードを取り出す 34
AXS メモリーカードに記録する 34
AXS メモリーカードをフォーマット（初期化）する 35
残りの記録可能時間を確認する 35
AXS メモリーカードを修復する 35
USB ワイヤレス LAN モジュールを使う 36
IFU-WLM3 を取り付ける 36
Wi-Fi 接続する 36
Wi-Fi リモコンを使用する 37

撮影

基本操作手順 42
基本設定を変更する 44
電子シャッター 44
感度 / ゲイン / 色温度 / ホワイトバランス 44
音声 45
タイムデータ 45
便利な機能 45
アサイナブルボタン 45
スロー＆クイックモーション 46
数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュ機能）..... 46
同時記録 47
レックレビュー 47
拡大フォーカス機能 48
フォルスカラー表示 48
ビューファインダー倍速駆動機能 48

サムネイル画面

サムネイル画面 49
画面の構成 49
クリップの再生 50
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する 50
クリップ操作 50
サムネイルメニューの操作方法 50
クリップの詳細情報を表示する 51
MPEG2 Proxy データをコピーする（PMW-F55 のみ）..... 51
クリップを削除する 52
サムネイル画面の情報を変更する 52

設定

サブディスプレイの操作方法 53
サブディスプレイ設定項目一覧 54
CAMERA 画面 54
FILE 画面 55
AU/TC（オーディオ / タイムコード）画面 55
セットアップメニューの操作方法 57
User メニュー 58
セットアップメニュー一覧 60
Camera メニュー 60
Paint メニュー 66
Audio メニュー 71
Video メニュー 72
VF メニュー 74
TC/UB メニュー 78
Recording メニュー 79
Media メニュー 80
File メニュー 81
Maintenance メニュー 83
System メニュー 84

外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する 89
コンピューターでクリップを管理・編集する 90
外部同期 91

付録

使用上のご注意 92
出力のフォーマットと制限 95
ビデオフォーマットと出力信号 95
エラー / 警告表示 101
エラー表示 101
警告表示 101
注意・動作確認表示 102
ライセンスについて 104
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について 104
MPEG-4 Visual Patent Portfolio License について 104
GPL/LGPL 適用ソフトウェアの入手について 104
オープンソースソフトウェアのライセンスについて 105

保証書とアフターサービス 105
保証書 105
アフターサービス 105
主な仕様 106
一般仕様 106
カメラ部 107
入出力 108
メディアスロット部 108
付属品 108
別売りアクセサリー 109
索引 112

本機の特長

PMW-F55/F5は、4Kスーパー 35mm相当単板CMOSイメージセンサーを搭載した、小型・軽量・高性能のCineAlta 4Kカメラです。
PMW-F55はフレームイメージスキャン機能を搭載したCMOSイメージセンサーにより、ローリングシャッター歪みやフラッシュバンド現象のないクリーンな4K撮像が可能です。
一方、PMW-F5は4Kイメージセンサーから撮像した高品位なHD記録が可能です。
記録メディアにはSxSメモリーカードを使用し、4Kまでの解像度に対応した新フォーマットXAVCに加えて、SR SStP、MPEG2 HDでのビデオフォーマットで記録が可能です。
また、新開発のアクセスメモリーカード（AXSM）を採用したポータブルレコーダーAXS-R5を接続すれば4K RAWの記録も可能です。
カメラのネイティブマウントはPMW-F3で採用したFZマウントです。PL/FZ変換アダプターを標準装備し、さまざまな種類のPLマウントのシネレンズが使用可能です。
さらに、マウントアダプター LA-FZB1/LA-FZB2（別売り）を使用することにより、放送用レンズとして広く普及しているB4レンズを装着することができます。いままでのレンズ資産を活用することが可能です。

マルチフォーマット対応

新フォーマットXAVC（正式名称 MPEG4 AVC/H.264 Hi422 Profiles/Level 5.2）に対応し、4K：4096×2160、QFHD：3840×2160、2K：2048×1080、HD：1920×1080の記録が可能です。
また、フレームレートも23.98Pから59.94Pまで対応します。ハイスピード撮影はS&Qモードにより各XAVC記録において1fps～60fpsの記録が可能です。XAVC記録の推奨メディアは新開発のSxS PRO+（プロプラス）メモリーカードです。
加えて、HDCAM-SRで採用しているSStP SR-SQ 444、SR-SQ 422、SR-Lite 422や、XDCAMで採用しているMPEG2 HD 422にも対応し、既存のワークフローが利用可能です。

最大240FPSでのハイフレームレート（HFR）撮影

PMW-F55またはPMW-F5とAXS-R5を組み合わせることにより、最大240FPSでの2K RAW収録が可能です。
また、AXS-R5を使用しないPMW-F5、PMW-F55単体でのSxSメモリーカード撮影収録においても、最大180FPSでの2K/HD記録が可能です。
本撮影でのハイフレームレートのスキャンモードには、スーパー 35mmサイズ相当のCMOSイメージセンサーのフル画角を使用して撮像し、ハイフレームレート撮影時も通常撮影と同じ焦点距離のレンズを使用することができるモードと、スーパー 35mmサイズ相当のCMOSイメージセンサー中央部分のスーパー 16mmサイズ相当部分で撮影するモードの2種類を搭載しています。

モジュラー構造

本機は、モジュラー構造のデザインを採用し、ハンドル、ビューファインダー、オーディオ入力端子BOX、ポータブルレコーダーなどは取りはずしができ、映画、ドラマ、CMの他、3D撮影、ドキュメンタリー、インタビューなど、さまざまな撮影スタイルに合わせて自由に組み合わせが可能です。
また、本体およびハンドルには1/4”および3/8”のマウントポイントを多数用意しており、簡単に業界標準アクセサリーを取り付けることが可能です。

その他の本機の特長

4K Super 35mm CMOS イメージセンサー

総画素数1160万画素、有効画素890万画素の4K Super 35mm相当単板CMOSイメージセンサーを搭載し、4K/HDでの記録が可能です。
PMW-F55のCMOSイメージセンサーはフレームイメージスキャン機能を搭載し、従来のCMOSイメージセンサーでは避けられなかったローリングシャッター歪やフラッシュバンド現象を排除し、クリーンな撮像が可能です。また、色再現性を重視したカラーフィルターを採用し、プリントフィルムを超える広色域にも対応しており、人間の目に迫るリアルな映像表現が可能です。

広いラティチュード、低ノイズ

14-stopという広大なラティチュードを持っており、暗部の細やかな階調からハイライトまでCMOSセンサーで取り込んだ情報を余すところなく撮像することが可能です。また、Exmor Super35 CMOSの技術を継承し、4Kの解像度、14-stopのラティチュードを維持したまま低ノイズレベルを実現しています。

映像信号処理

4K 59.94Pまでのベースバンドビデオ信号処理を高速かつ安定して行い、低消費電力で小型なカメラを実現するために、従来のカメラ信号処理LSIチップとビデオベースバンド信号処理チップを1チップに集約し、4K/HD同時記録、記録時間制限のないハイスピード撮影を実現しています。

用途に応じたガンマカーブを搭載

本機には用途に応じたさまざまなガンマカーブが搭載されています。
本機の持つ広いラチチュードを収録するために2種類のS-Log2とS-Log3が搭載されています。
その他にもユーザーガンマとハイパーガンマを搭載しています。
ユーザーガンマは、CvpFileEditorTM V4.2で作成された任意のガンマカーブをインストールして使用することが可能です。
ハイパーガンマは、広いダイナミックレンジを、ニーを使わずに滑らかなコントラストで表現します。
本機には、下記の6種類のハイパーガンマが搭載されています。

選択可能なハイパーガンマ

No.	名称[1)]	ダイナミックレンジ	ホワイトリミット	18%グレーカードのビデオ出力（ビデオ入力20%）
1	HG3250G36	325%	100%	36%
2	HG4600G30	460%	100%	30%
3	HG3259G40	325%	109%	40%
4	HG4609G33	460%	109%	33%
7	HG8009G40	800%	109%	40%
8	HG8009G33	800%	109%	33%

*1)*名称ルール：HG+ダイナミックレンジ3桁+ホワイトリミットの一の位+G+18%グレーカードのビデオ出力

ダイナミックレンジは、325%、460%、800%の3種類から選択可能です。ビデオ出力の最大値（ホワイトリミット）は、109%または100%のどちらかを選択できます。また、18%グレーカードのビデオ出力レベルを2とおりから選択できます。

出力系統別 Monitor LUT On/Off 機能

内部記録信号を含めた出力映像信号を3系統に分類し、系統ごとにMonitor LUTのOn/Off（適用/非適用）を選択できます。
プリセットのMonitor LUTとして、5種類のガンマカーブ、4種類のLook Profileを搭載し、さらにRAW Viewerで生成された任意のユーザー LUTファイルを使用することが可能です。

直感的なユーザーインターフェース

本機では、インサイドパネルにカラー LCDパネルを装備し、使用頻度の高い設定メニューを6か所のボタンに割り当てたダイレクトアクセスメニューに対応しました。設定情報をなるべく大きな文字で表示し、視認性を確保しています。CAMERA、FILE、AU/TC、VIEWの4画面を切り換えることにより、スピーディーに必要な設定を完了することができます。
また、不用意にカメラの設定が変わるのを防止するためにLOCKスイッチを採用しています。

付属のUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3を使用することで、タブレット端末などのWi-Fi対応機器からワイヤレスで本機を操作することができます。

アサイナブルボタン

インサイドパネル側に3個、アウトサイドパネル側に1個のアサイナブルボタンを配置しました。頻繁に使われる機能をユーザーの好みで割り当てることにより、撮影時の動作をスムーズに行うことができます。

内蔵 ND フィルター

回転式のNDフィルターを内蔵し、Clear、0.9（1/8）、1.8（1/64）の3種類に対応しました。

外付けのマットボックス等を使用せずに光量の調節が可能です。

別売りのマウントアダプター LA-FZB2を装着してB4レンズを使用する場合は、本機の内蔵NDフィルターをClearにして、LA-FZB2の電動式光学フィルター（減光フィルター、色温度変換フィルター）も使用することが可能です。

豊富なI/O端子

SDI 4 系統出力

本機はSDI 4系統出力を持っており、3G-SDI×4での4K 59.94Pのライブ出力が可能です。

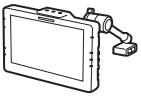
また、SDI-1/2 OUTをMain、SDI-3/4 OUTをSub出力として切り換えて使用することも可能です。その他、Genlock IN、Timecode IN/OUT、HDMI OUT、Remoteなどの豊富なI/Oを装備しています。

システム構成例

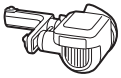
本機を中心としたカメラシステムの構成例を以下に示します。

レンズ
PMW-F3K付属レンズ（35mm/50mm/85mm）
SCL-PK6/F、PK6/M（6本セット、20mm/25mm/35mm/50mm/85mm/135mm）
SCL-PK3/F、PK3/M（3本セット、20mm/25mm/135mm）
SCL-P11X15
SCL-Z18X140

ビューファインダー
DVF-L350



ビューファインダー
DVF-L700



ビューファインダー
DVF-EL100

マイクロホン
ECM-680S（EC-0.5X5F3M）、
ECM-678、ECM-674

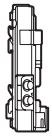
SxSメモリーカード
SBP-128B、SBP-64A/B、SBP-32、
SBS-64G1A、SBS-32G1A
XQDメモリーカード
QD-S64E、QD-S32E、QD-N64
（XQD ExpressCardアダプター QDA-EX1が必要）

USBカードリーダー
SBAC-US20

レンズマウント
アダプター

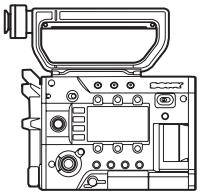
マウントアダプター
LA-FZB1、LA-FZB2

Optical 2K Filter
CBK-55F2K

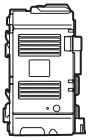


バッテリー
アダプター

バッテリーパック
BP-FL75、BP-L80S



PMW-F55、PMW-F5



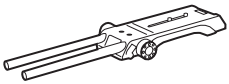
ポータブル
メモリーレコーダー
AXS-R5

ACアダプター
AC-DN2B、AC-DN10

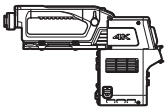
リモートコントロールユニット
RM-B170、RM-B750、CBK-DCB01

AXSメモリーカード
AXS-512S24、AXS-A512S24、
AXS-A1TS24

AXSメモリー
カードリーダー
AXS-CR1



ショルダーアダプター
VCT-FSA5



カメラシステムアダプター CA4000

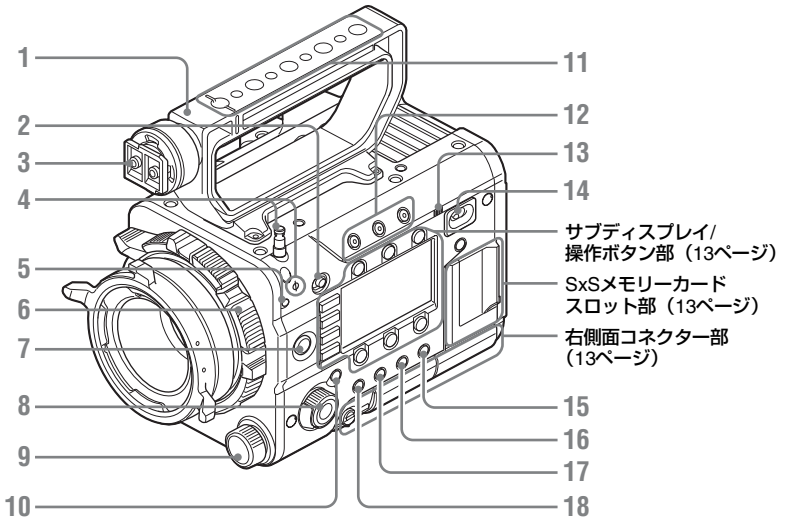
USBワイヤレスLANモジュール
IFU-WLM3（付属）

モニター：BVMシリーズ、PVMシリーズ、LMDシリーズ

各部の名称と働き

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、（ ）内のページをご覧ください。

本体のイラストは、バッテリーアダプター（15ページ）をはずした状態です。
バッテリーアダプターの取りはずし方は、「バッテリーパックを使う」の「取りはずす」（23ページ）をご覧ください。



1. **ハンドル**
2. **LOCK（ロック）スイッチ**
   側面パネルの操作をロックします。
3. **ビューファインダーシュー**
4. **メジャーフック/イメージセンサー位置マーク**
   メジャーフック、ϕ マークがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークまたはメジャーフックの位置を参考にしてください。
   メジャーフックにメジャーの先端をかけて、被写体からの距離を実測できます。
5. **フランジバック調整ネジ（25ページ）**
6. **レンズマウント（24ページ）**
7. **REC（記録開始/記録停止）ボタン/ランプ（42ページ）**
8. **SEL/SET（選択/確定）ダイヤル（MENUダイヤル）（53、57ページ）**
   各メニュー内の項目選択や設定値の変更をするときに使います。
9. **ND FILTER（NDフィルター）切り換えスイッチ**
   レンズの絞りを適切な範囲に保つためNDフィルターを使用できます。
   つまみを引っ張りながら回して、設定をしてください。
   CLEAR：NDなし
   0.9：1/8ND
   1.8：1/64ND
10. **CANCEL/BACK（キャンセル/バック）ボタン（53、57ページ）**

11. アクセサリー取り付けネジ穴

ネジ種：1/4-20UNC（×4）
ネジ種：3/8-16UNC（×5）
ネジ勘合長：9 mm 以下

ご注意

取り付けたアクセサリーに過度の衝撃を加えないでください。ネジ部が破損する恐れがあります。

12. ASSIGN 1/2/3（アサイナブル1/2/3）ボタン/ランプ（45ページ）

13. 内蔵スピーカー（42ページ）

14. 電源スイッチ

電源を入れるときはON（**I**の位置）にします。電源を切るときはOFF（⏻の位置）にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取りはずしてください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにしてから取りはずしてください。ONのまま取りはずすと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

15. BRIGHTNESSボタン

サブディスプレイの明るさを4段階で調節します。

16. STATUS（ステータス表示ON/OFF）ボタン

ビューファインダー、外部ビデオモニターにステータス画面を表示できます。
MENUダイヤル（10ページ）を回すと順次切り換わります。

カメラステータス画面

カメラの電子シャッター設定やレンズの状態を表示します。

Gain	ゲインアップ量（dB）または感度（ISO/EI）
Shutter	電子シャッターの設定
Gamma	ガンマカテゴリーとカーブ （撮影モードがCine EIのときはMLUT OffのGammaを表示）
White	ホワイトバランスのモードと設定
Zebra1	ゼブラ1のOn/Offと設定レベル
Zebra2	ゼブラ2のOn/Offと設定レベル
Iris	アイリスのT値
Focal Length	焦点距離（mm）
Focus Distance	フォーカス距離（mm/Inch）
Depth Of Field	被写界深度（mm/Inch）
Optical Filter	光学フィルターの種類

オーディオステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと風音低減フィルターの設定状態を表示します。

Level	レベルメーター
Source	入力ソース
Reference	リファレンスレベルの設定
Wind Filter	風音低減フィルターの設定

システムステータス画面

ビデオ信号の設定を表示します。

System Frequency	システム周波数
Rec Format	SxSメモリーカードに記録するフォーマット
Picture Size	SxSメモリーカードに記録する画サイズ
Rec Function	Onになっている特殊記録とその設定
Gamma	SxSメモリーカードに記録するガンマのカテゴリー
Imager Scan	イメージャーの読み出しモード
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレックのOn/Off
MPEG2 Proxy	MPEG2 ProxyのOn/Off（PMW-F55のみ）

ビデオアウトプットステータス画面

SDI 1～SDI 4、HDMI、Testビデオ出力の設定を表示します。

Picture Size	出力画サイズ
C.Space	出力形態
Freq	出力レート
Gamma	ガンマ

アサイナブルボタンステータス画面

各アサイナブルボタンに割り当てた機能を表示します。

1～4、Lens RET	Assign1～4ボタンおよびレンズのRETボタンに割り当てられている機能

バッテリーステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

Detected Battery	バッテリーの種類
Remaining	残容量（%）
Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量（Ah）
Voltage	電圧（V）
Manufacture Date	バッテリーの製造年月日
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

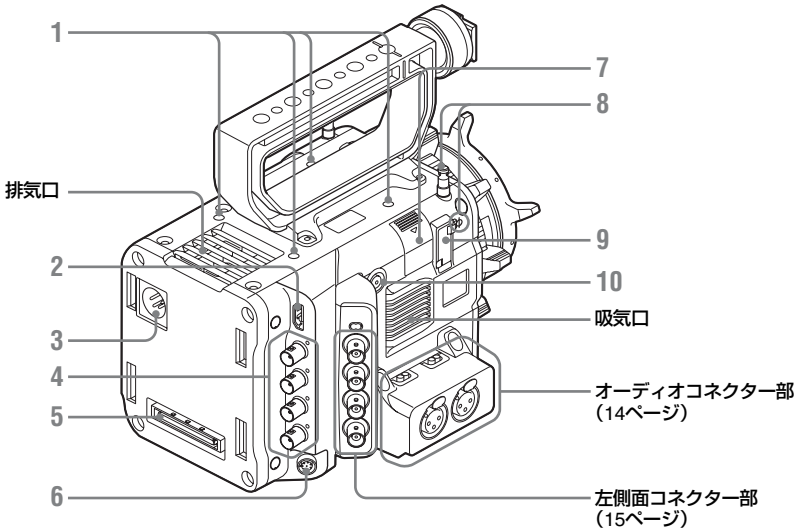
メディアステータス画面

記録メディア（SxSメモリーカードA/SxSメモリーカードB/SDカード/AXSメモリー）の残量、残記録可能時間、および寿命データを表示します。

プロテクト情報	
Remaining	残量および残時間
Life	寿命

17. OPTIONボタン（50ページ）

18. MENU（メニュー表示ON/OFF）ボタン



1. アクセサリー取り付けネジ穴

ネジ種：1/4-20UNC（×4）

ネジ勘合長：9 mm 以下

ご注意

- 取り付けたアクセサリーに過度の衝撃を加えないでください。ネジ部が破損する恐れがあります。
- アクセサリーを取り付ける際は、吸気口や換気口を覆わないようにしてください。

2. HDMI OUT端子（89ページ）

3. DC IN（DC電源入力）端子（23ページ）

4. SDI OUT 1～4（シリアルデジタル出力）端子（BNC型）（89ページ）

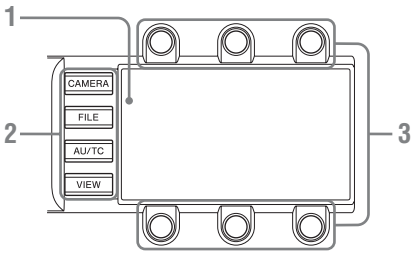
5. 拡張ユニット取り付け端子（22、34ページ）

6. REMOTE（リモートコントロール）端子（8ピン）

リモートコントロールユニットなどの外部コントロール機器を接続します。

7. **USBワイヤレスLANモジュール格納部（36ページ）**
   USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3を接続することにより、無線LAN 機器との通信が可能になります。
8. **メジャーフック/イメージセンサー位置マーク**
   メジャーフック、ϕ マークがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークまたはメジャーフックの位置を参考にしてください。
   メジャーフックにメジャーの先端をかけて、被写体からの距離を実測できます。
9. **VF（ビューファインダー出力）端子（26ページ）**
10. **ASSIGN 4（アサイナブル4）ボタン（45ページ）**

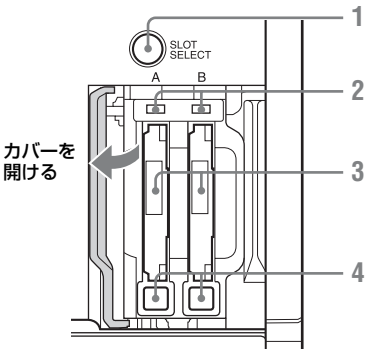
サブディスプレイ/操作ボタン部（53ページ）



1. **サブディスプレイ**
2. **機能ボタン**
   - **CAMERA（カメラ）ボタン**
   - **FILE（ファイル）ボタン**
   - **AU/TC（オーディオ/タイムコード）ボタン**
   - **VIEW（ビュー）ボタン**
3. **項目ボタン**

SxSメモリーカードスロット部（29ページ）

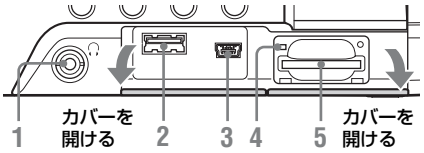
SxSメモリーカードスロットはカバー内にあります。



1. **SLOT SELECT（SxSメモリーカード選択）ボタン**
2. **ACCESS（SxSメモリーカードアクセス）ランプ**
3. **SxSメモリーカードスロット**
4. **EJECT（SxSメモリーカード取り出し）ボタン**

右側面コネクター部

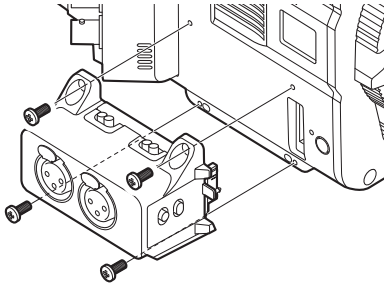
USB端子、SDカードスロットはカバー内にあります。



1. **ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）（42ページ）**
2. **USB端子（A端子）**
3. **USB端子（Mini B端子）**
4. **ACCESS（SDカードアクセス）ランプ（32ページ）**
5. **SDカードスロット（32ページ）**

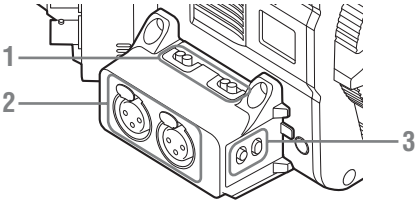
オーディオコネクター部

付属のオーディオコネクターを図のように取り付けます。



ご注意

- 取り付け/取りはずしは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- 取り付けの際は、キャップを挟み込まないように注意してください。
- オーディオコネクター部を取りはずす際は、本機に対して垂直方向にゆっくりと引き離してください。
- 取りはずす際にコネクター部へ過度な衝撃が加わると、コネクター部が破壊する恐れがあります。



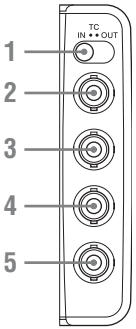
1. **AUDIO IN CH1 / AUDIO IN CH2（外部音声入力切り換え）スイッチ**
   使用する外部マイクや外部オーディオ機器などの入力信号を切り換えます。
   LINE：ライン入力するオーディオ機器
   AES/EBU：AES/EBUフォーマットの音声信号
   MIC：マイク入力
2. **AUDIO IN（CH-1 / CH-1/2）/ AUDIO IN（CH-2 / CH-3/4）（音声入力）端子**
   外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力します。
3. **CH1 MIC +48V/OFF、CH2 MIC +48V/OFF（外部マイク入力切り換え）スイッチ**
   MIC +48Vにすると、外部マイクにファントム電源（+48V）を供給することができます。

AUDIO IN CH1 / AUDIO IN CH2スイッチの設定と記録チャンネルの関係は以下のとおりです。

AUDIO IN CH1/CH2スイッチ		記録チャンネル			
CH-1	CH-2	CH-1	CH-2	CH-3	CH-4
LINE / MIC	LINE / MIC	LINE1 / MIC1	LINE2 / MIC2	無音	無音
AES/EBU	LINE / MIC	AES/EBU1-1	AES/EBU1-2	無音	無音
LINE / MIC	AES/EBU	LINE1 / MIC1	無音	AES/EBU2-1	AES/EBU2-2
AES/EBU	AES/EBU	AES/EBU1-1	AES/EBU1-2	AES/EBU2-1	AES/EBU2-2

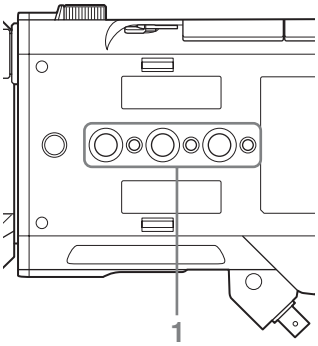
LINE1 / MIC1：CH-1に入力されたLINEまたはMIC信号
LINE2 / MIC2：CH-2に入力されたLINEまたはMIC信号
AES/EBU1-x：CH-1に入力されたAES/EBU信号内のChannel x信号
AES/EBU2-x：CH-2に入力されたAES/EBU信号内のChannel x信号

左側面コネクター部



1. **TC IN/OUT（タイムコード入力/出力切り換え）スイッチ（91ページ）**
2. **TC（タイムコード入力/出力）端子（BNC型）（91ページ）**
3. **GENLOCK IN（ゲンロック入力）端子（BNC型）（91ページ）**
4. **TEST OUT（アナログビデオ出力）端子（BNC型）（89ページ）**
5. **SHUTTER（シャッター）端子（BNC型）**
   （本バージョンでは使用しません。）

底面



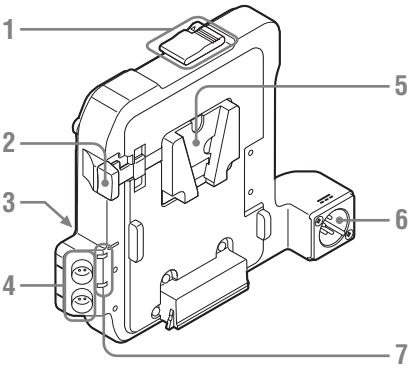
1. **アクセサリー取り付けネジ穴**
   ネジ種：1/4-20UNC（×3）
   ネジ種：3/8-16UNC（×3）
   ネジ勘合長：9 mm 以下

ご注意

取り付けたアクセサリーに過度の衝撃を加えないでください。ネジ部が破損する恐れがあります。

バッテリーアダプター

バッテリーアダプターの取り付け/取りはずし方は、「バッテリーパックを使う」（22ページ）をご覧ください。



1. **リリースボタン/脱着レバー**
2. **バッテリーリリースレバー**
3. **拡張IF端子**
4. **DC OUT 1/2 （DC電源出力）端子**

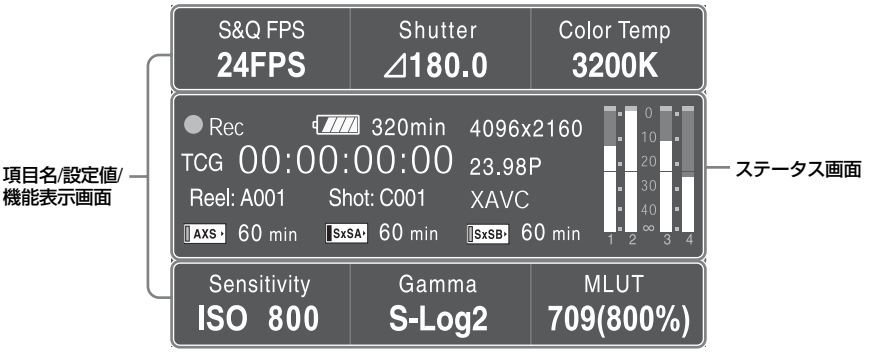
   ご注意

   消費電流が1.8 A以下の機器を接続してください。
5. **バッテリーパック取り付け部**
6. **DC IN（DC電源入力）端子（23ページ）**
7. **DC OUTオーバーカレントインジケーター**
   過電流保護が働いているときに点灯します。
   点灯した場合は電源供給状態を解除し、本体の電源を再投入してください。

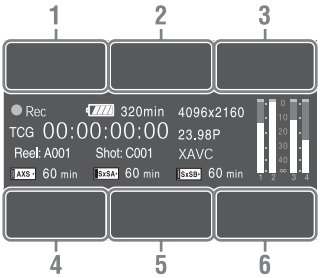
画面表示

サブディスプレイ画面

本機の電源を入れるとサブディスプレイが表示され、本機の状態の確認や基本的な項目の設定が行えます。
サブディスプレイの左側にある機能ボタン（13ページ）を押すと、画面が切り換わります。



項目名 / 設定値 / 機能表示画面



CAMERA-1（54ページ）

1. **S&Q FPS**
   スロー&クイックモーションとフレームレートの表示/設定
2. **Shutter**
   シャッタースピード/シャッター角度の表示/設定
3. **Color Temp**
   色温度の表示/設定
4. **Sensitivity/Gain/Exposure Index**
   感度・ゲイン（ISO/dB/EI）の表示/設定
5. **Gamma/High Latitude**
   ガンマカテゴリーの表示/設定
   （撮影モード（84ページ）がCine EIのときはHigh Latitudeを表示）
6. **MLUT**
   モニター LUT/Look Profileの表示/設定
   MLUT表示は、撮影モード（84ページ）がCine EIのときのみ表示されます。

CAMERA-2（55ページ）

1. **Color Bars**
   カラーバーのOn/Off
2. **Auto White**
   オートホワイトバランスの実行
3. **Auto Black**
   オートブラックバランスの実行
4. **Sub&HDMI**
   SDI（Sub）およびHDMI出力のモニターLUTのOn/Off
5. **Viewfinder**
   ビューファインダー出力のモニター LUTのOn/Off

6. **SDI(Sub)Disp.**

   SDI（Sub）出力への文字情報のインポーズのOn/Off

FILE-1（55ページ）

1.〜 6. **All File Load 1〜6**

   SD CardからのAllファイル（1〜6）の呼び出し

FILE-2（55ページ）

1.〜 6. **Scene Recall 1〜5/Standard**

   内蔵メモリーからのSceneファイル（1〜5またはStandard）の呼び出し

FILE-3（55ページ）

1.〜 6. **Lens Recall 1〜6**

   内蔵メモリーからのレンズファイル（1〜6）の呼び出し

AU/TC-1（55ページ）

1. **MIC CH1 Ref**

   MIC CH1の基準入力レベルの表示/設定

2. **CH1 Input**

   CH1の録音レベルのAuto/Manual設定およびManual時のレベル表示/設定

3. **CH1 Select**

   CH1の入力ソースの表示

4. **MIC CH2 Ref**

   MIC CH2の基準入力レベルの表示/設定

5. **CH2 Input**

   CH2の録音レベルのAuto/Manual設定およびManual時のレベル表示/設定

6. **CH2 Select**

   CH2の入力ソースの表示

AU/TC-2（56ページ）

3. **Monitor CH**

   ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルの表示/設定

5. **Monitor Level**

   ヘッドホンおよびスピーカーに出力するモニター音量の表示/設定

AU/TC-3（56ページ）

1. **Display**

   タイムデータの表示/設定

2. **Reset**

   タイムコードおよびカウンターのリセット

3. **Set**

   タイムコードの設定

4. **Mode**

   タイムコードの歩進モードの設定

5. **Run**

   タイムコードの歩進条件の設定

6. **TC Source**

   タイムコードの外部ロック状態の表示

VIEW-1

1. **F Rev ◀◀**

   逆高速再生

2. **Play/Pause ▶II**

   再生/一時停止

3. **F Fwd ▶▶**

   高速再生

4. **Prev I◀◀**

   逆方向クリップジャンプ

5. **Stop ■**

   停止

6. **Next ▶▶I**

   順方向クリップジャンプ

VIEW-2

1. **Thumbnail**

   サムネイル画面の表示/非表示

2. **Up ⬆**

   カーソルを上へ移動

3. **Set**

   選択項目の決定

4. **Left ⬅**

   カーソルを左へ移動

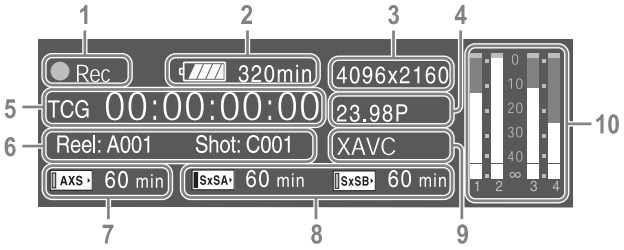
5. **Down ⬇**

   カーソルを下へ移動

6. **Right ➡**

   カーソルを右へ移動

ステータス画面



1. 特殊記録/動作状態表示

●Rec	録画中
Stby	録画待機中
●S&Q Rec	スロー＆クイックモーション録画中
S&Q Stby	スロー＆クイックモーション録画待機中
●HFR Rec	スロー＆クイックモーション、High Frame Rateモード録画中
HFR Stby	スロー＆クイックモーション、High Frame Rateモード録画待機中
●Cache	●が緑のとき：ピクチャーキャッシュレック待機中
	●が赤のとき：ピクチャーキャッシュレック実行中

2. バッテリー残量/DC IN電圧表示（23ページ）

3. 記録フォーマット（画サイズ）表示（28ページ）

SxSメモリーカードに記録される画サイズを表示します。

4. システム周波数とスキャン方式表示（27ページ）

5. タイムデータ表示（45ページ）

6. クリップ名表示（80ページ）

録画中：
MediaメニューのClip Naming→ModeがTitleのときは「Clip：クリップ名」、Cam ID + Reel#のときは「Reel：Camera ID + Reel Number」と「Shot：Camera Position + Shot Number」を表示します。
再生中/サムネイル画面表示中：
「Clip：クリップ名」を表示します。

7. AXSメモリー状態/残量表示（35ページ）

8. A/Bスロットメディア状態/残量表示（30ページ）

9. 記録フォーマット（コーデック）表示（28ページ）

SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

10. オーディオレベルメーター（4CH）

ビューファインダー画面

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。
表示/非表示の切り換えは、セットアップメニューまたはアサイナブルボタンで行います。
また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます（77ページ）。

メニューで切り換えるには

VFメニューのDisplay On/Off（77ページ）の、Settingで切り換えます。

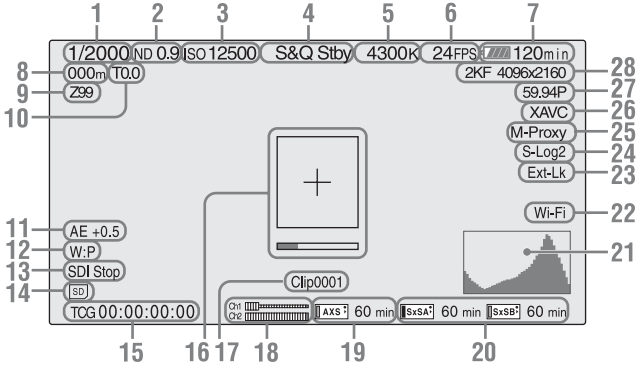
アサイナブルボタンで切り換えるには

アサイナブルボタン（45ページ）のいずれかに、Displayを割り当てると、ボタンを押して表示/非表示を切り換えることができます。

メモ

1.3倍または2 倍のアナモフィックレンズを使用する場合、VFメニューのVF Setting（74ページ）の、AspectをAnamo x1.3またはAnamo x2に設定すると、ビューファインダーに歪みのない正常な画像を表示できます。

撮影中の画面に表示される情報



1. **シャッターモード/シャッタースピード表示（63ページ）**
2. **NDフィルター表示（10ページ）**
3. **ゲイン表示（61ページ）**

   SystemメニューのBase Setting（84ページ）の、Shooting ModeがCine EIに設定されているときは、EI 値で表示します。

4. **特殊記録/動作状態表示**

●Rec	録画中
Stby	録画待機中
●S&Q Rec	スロー＆クイックモーション録画中
S&Q Stby	スロー＆クイックモーション録画待機中
●HFR Rec	スロー＆クイックモーション、High Frame Rateモード録画中
HFR Stby	スロー＆クイックモーション、High Frame Rateモード録画待機中
●Cache	●が緑のとき：ピクチャーキャッシュレック待機中
	●が赤のとき：ピクチャーキャッシュレック実行中

5. **色温度表示（60ページ）**
6. **S&Q撮影フレームレート表示（64ページ）**
7. **バッテリー残量/DC IN電圧表示（23ページ）**
8. **フォーカスポジション表示**

   フォーカスの位置を表示します。（フォーカス設定表示対応レンズ装着時のみ）

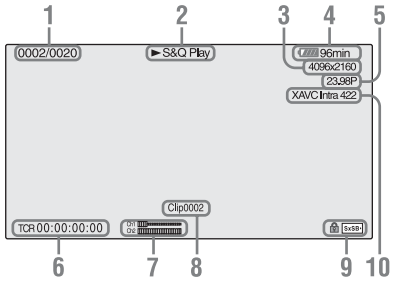
9. **ズームポジション表示**
   ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。（ズーム設定表示対応レンズ装着時のみ）
10. **アイリスポジション表示**
    アイリスの位置が表示されます。（アイリス設定表示対応レンズ装着時のみ）
11. **オートアイリスレベル表示**
    CameraメニューのAuto Exposure（64ページ）の、Levelが±0以外の値に設定されている場合に表示されます。
12. **ホワイトバランスモード表示（60ページ）**

W:P	プリセットモード
W:M	メモリーモード

13. **SDI出力の制御状態表示（72ページ）**
14. **SDカード表示**
15. **タイムデータ表示（45ページ）**
16. **フォーカスアシスト表示（78ページ）**
    フォーカスの合焦度を検出する領域を示す検出枠（Focus Area Marker）と、検出枠内のフォーカス合焦度を示すレベルバー（Focus Assist Indicator）を表示します。
17. **クリップ名表示（43ページ）**
18. **オーディオレベルメーター**
19. **AXSメモリー状態/残量表示（35ページ）**
    アイコンの左がオレンジのとき：記録可能
    アイコン右上の緑ランプ点灯時：再生可能
20. **A/Bスロットメディア状態/残量表示（30ページ）**
    アイコンの左がオレンジのとき：記録可能
    アイコン右上の緑ランプ点灯時：再生可能
21. **ビデオ信号表示（78ページ）**
    ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。
22. **Wi-Fi接続状態表示（36ページ）**
    Wi-Fi機能がOnのときに表示します。
23. **タイムコード外部ロック表示**
    他機のタイムコードにロックさせると「Ext-Lk」と表示されます。
24. **ガンマ/モニター LUT表示（66、73ページ）**
    ガンマ設定値を表示します。Shooting Mode（84ページ）がCine EIのときは、SxSメモリーカードに記録される映像のガンマまたはモニター LUTの設定を表示します。
25. **同時記録状態表示（47ページ）**
    M-Proxy：1スロットに同時記録する機能が有効なときに表示します。
26. **記録フォーマット（コーデック）表示（28ページ）**
    SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。
27. **システム周波数とスキャン方式表示（27ページ）**
28. **記録フォーマット（画サイズ）表示（28ページ）**
    SxSメモリーカードに記録される画サイズを表示します。
    画サイズの左に、イメージャーの読み出しモード（2KF：2K Full、2KC：2K Center）を表示します。
    RAWフォーマットのみを記録する場合は、イメージャーの読み出しモードのみ表示されます。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. **クリップ番号/クリップ総数**
2. **再生モード表示**
3. **再生フォーマット（画サイズ）表示**
4. **バッテリー残量/DC IN電圧表示**
5. **再生フォーマット（フレームレート）表示**
6. **タイムデータ表示**

   TC/UBメニューのTC Display（78ページ）で、タイムコードと収録時間（Duration）を切り換えることができます。
7. **オーディオレベル表示**

   記録時のオーディオレベルを表示します。
8. **クリップ名表示**
9. **メディア表示**

   メモリーカードがプロテクトされている場合は、左に マークが表示されます。
10. **再生フォーマット（コーデック）表示**

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。
安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック
BP-FL75
BP-L80S

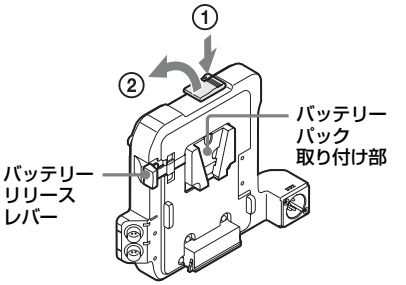
AC アダプター
AC-DN2B
AC-DN10

バッテリーパックを使う

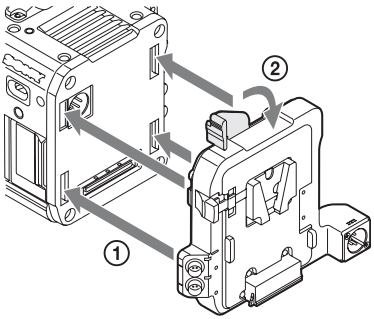
取り付ける

1 本機にバッテリーアダプター（付属）を取り付ける。

バッテリーアダプターのリリースボタンを押すと（①）、脱着レバーがポップアップしますので、脱着レバーを上まで引き上げます（②）。



本機後面の溝にバッテリーアダプターのツメを差し込み（①）、脱着レバーを倒します（②）。



ご注意

- 脱着レバーを確実に引き上げてから装着してください。
- 4か所のツメを確実に装着してから脱着レバーを倒してください。装着不良、または破損の原因となります。

2 バッテリーアダプターにバッテリーパックを取り付ける。

バッテリーパックをバッテリーパック取り付け部に差し込んで、下にスライドさせてロックします。

ご注意

- 装着する前に、バッテリーチャージャーを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

取りはずす

バッテリーリリースレバーを押しながらバッテリーパックを上にスライドさせてロックをはずし、取りはずします。
バッテリーアダプターは、リリースボタンを押して脱着レバーを引き上げたのち、上にスライドさせながら手前に引いてはずします。

ご注意

バッテリーアダプターを取りはずす際は、必ず手で支えながらはずしてください。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、サブディスプレイ画面（16ページ）およびビューファインダー画面（18ページ）にバッテリー残時間またはバッテリー電圧が表示されます。

アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、RECランプの点滅とブザー音で警告します。
さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると、バッテリーパックの残りがないことを知らせるメッセージに切り換わります。
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

SystemメニューのBattery Alarm（87ページ）で変更します。

AC電源を使う（DC IN電源）

本機はACアダプター AC-DN2B/AC-DN10（別売り）およびDCケーブルCCDD-X2（別売り）を使用することによって、AC電源に接続して動作させることができます。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換した後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。
この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zone について
UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

日付/時刻を設定する

MENUダイヤル（10ページ）を回して項目や数値を選び、MENUダイヤルを押して決定します。最後にカーソルをFinishに合わせてMENUダイヤルを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

設定画面が消えた後は、Systemメニューの Clock Set（87ページ）を使用してTime Zoneおよび日時の設定を変更することができます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

機器を取り付ける

レンズを取り付ける

推奨レンズ
PMW-F3K付属レンズ（35mm/50mm/85mm）
SCL-PK6/F、SCL-PK6/M（6本セット、20mm/25mm/35mm/50mm/85mm/135mm）
SCL-PK3/F、SCL-PK3/M（3本セット、20mm/25mm/135mm）
SCL-P11X15
SCL-Z18X140

◆本機で使用できるレンズについて詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠警告

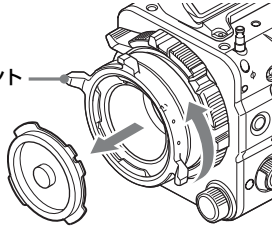
レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

ご注意

- レンズの取り付け/取りはずしは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- レンズは精密部品です。レンズは、マウント部側を下にして直に置かないでください。必ず付属のキャップをかぶせてください。
- 本機のレンズインターフェースは、PMW-F3K付属レンズ、SCL-P11X15およびCooke型コネクター付きレンズ用のType Cに設定されています。ARRI型コネクター付きのレンズを使用するときは、CameraメニューのLens Interface（66ページ）をType Aに変更してください。SCL-PK6、SCL-PK3やそれ以外のレンズではOffに設定します。インターフェースが正しく設定されていないと、レンズを取り付け後に電源を入れると警告メッセージが表示されます。

PLマウントレンズを取り付ける

1 PLマウントレバーを反時計方向に回して、レンズマウントからマウントキャップをはずす。

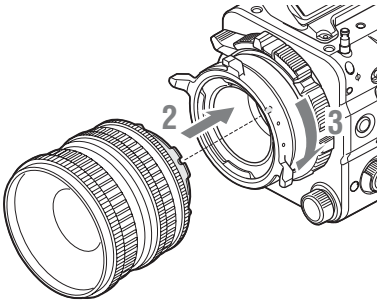


ご注意

PLマウントレバーを反時計回りにストッパーの位置まで回してください。

2 レンズマウント上面右の位置決めピンに、レンズの凹部を合わせ、レンズをマウントに差し込む。

3 レンズを支えながら、PLマウントレバーを時計方向に回して、レンズを固定する。

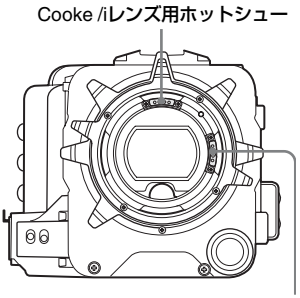


ご注意

PLレンズを装着の際は、レンズを回さないでください。レンズを回すと、ホットシューピン折れの原因となります。

ARRI[1] LDS レンズまたは Cooke /i レンズを取り付けるには

レンズ側のコンタクトと本機側のホットシューの位置を合わせてください。



*1)*ARRI Group

PLマウントレンズ以外のレンズを取り付ける

FZマウントレンズおよびマウントアダプター LA-FZB1/FZB2（別売り）を取り付けてB4レンズを使用する場合は、レンズマウントを反時計方向に回してマウントアダプターを取りはずしてから装着してください。

フランジバックを調整する

次のような場合、フランジバック（レンズマウントの取り付け面から結像面までの距離）の調整が必要です。

- レンズを初めて取り付けたとき
- レンズを交換したとき
- ズームレンズ使用時に、望遠・広角の両方で焦点がきちんと合わないとき

本機では、フランジバック調整ネジ（10ページ）を回すことによってフランジバックを調整できます。
調整には、六角レンチ（対辺 7/64インチ）を使用してください。
左に回すとフランジバック長が長くなり、右に回すと短くなります。フランジバック調整は微妙な調整ですので、ネジはゆっくり回してください。

ご注意

- フランジバック調整ネジを回しすぎると本機が動作しなくなります。フランジバック量が変化しなくなった時点で回すのをやめてください。限度の目安は、左7回転、右7回転です。

- 必ず指定した寸法の六角レンチをご使用ください。指定以外のものを使うとネジ穴が壊れて回せなくなります。

レンズを取りはずす

次の手順で取りはずしてください。

1 レンズを下から支えて、PLマウントレバーを反時計方向に回す。

2 レンズを前方に引き抜く。

ご注意

別のレンズをすぐに取り付けないときは、マウントキャップの凹部を確実に合わせて、PLマウントレバーを時計方向に回して固定してください。

レンズファイルを選択する

本機では、取り付けたレンズ固有の補正値などをレンズファイルとして保存しておくことによって、ファイルを呼び出すだけで必要な調整を実行することができます。FileメニューのLens File（82ページ）で保存/呼び出しを行います。

ズームとフォーカスを外部からコントロールする

ソニー製レンズSCL-Z18X140使用時に、CBK-DCB01（別売り）をREMOTE端子（12ページ）に接続することで、CBK-DCB01からズームとフォーカスをコントロールすることができます。

ご注意

CBK-DCB01を単独でREMOTE端子に接続する場合は、MaintenanceメニューのCamera Config（84ページ）のRM Common MemoryをOnに設定してください。

◆本機で使用可能なCBK-DCB01について詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

ビューファインダーを取り付ける

本機で使用できるビューファインダー

DVF-L350：LCDカラービューファインダー
DVF-L700：LCDカラービューファインダー
DVF-EL100：OLEDカラービューファインダー

⚠警告

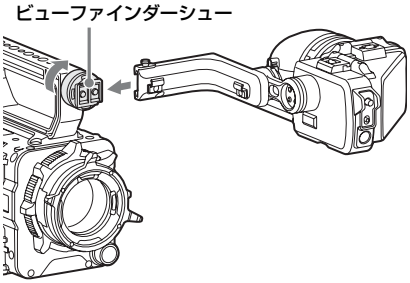
接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

ご注意

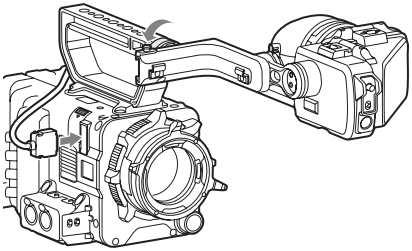
- ビューファインダーの取り付け/取りはずしは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- DVF-L700を取り付ける場合は、DVF-L700側のPOWER（電源）スイッチをONにした状態で本機の電源を入れてください。

◆ビューファインダーの取り付けについて詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

1 ビューファインダーシューの固定リングをゆるめ、ビューファインダーの溝を合わせて水平方向にスライドさせて取り付ける。



2 ビューファインダーの左右位置が決まったら固定リングを回して締め、ビューファインダーケーブルを本機のVF端子に接続する。



ビューファインダーを取りはずすには

ビューファインダー固定リングをゆるめ、ストッパーを上げて、ビューファインダーを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

本機の基本動作を設定する

撮影を始める前に、使用する運用形態に合わせて、基本動作の設定を行います。

システム周波数

SystemメニューのSystem Setting（84ページ）の、Frequencyで切り換えます。
設定値によっては、切り換えを実行すると本機が自動的に再起動します。

ご注意

記録・再生中にシステム周波数を切り換えることはできません。

撮影モード

本機では、ポストプロダクション処理を前提とし、現場では画作りを行わないフィルムカメラと同等の使いかたができる「Cine EIモード」と、設定項目すべてにアクセスし、現場で自在に映像の作りこみができる「Customモード」を切り換えて使用できます。
SystemメニューのBase Setting（84ページ）のShooting Modeで切り換えます。

本線記録信号

本線として使用する信号形式を設定します。
SystemメニューのBase Setting（84ページ）のMain Operationで切り換えます。
RAW信号は本機に装着されたAXS-R5に記録され、YPbPr信号およびRGB信号は本機内のSxSメモリーカードに記録されます。
RGB信号は本機のSDI 1/2端子より出力されますので、SR-R1などの外部機器へ記録します。
撮影モードがCine EIモードではYPbPr/RGB/RAWから選択し、Customモードでは YPbPr/RGBからの選択となります。

ご注意

RAW信号はAXS-R5が装着されている場合のみ設定可能です。AXS-R5が装着されていない場合はYPbPrまたはRGBの選択となります。

カラースペース

記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。
撮影モードがCine EIモードのときに、MLUTをOffに設定した映像出力の色域を選択します。撮影モードがCustomモードのときはMatrix固定となります。
SystemメニューのBase Setting（84ページ）のColor Spaceで切り換えます。

S-Gamut/SLog2：フィルムカメラに匹敵する広い色域
S-Gamut3.Cine/SLog3：デジタルシネマの色域（DCIP3）への調整がしやすい色域
S-Gamut3/SLog3：ソニー独自の画像歪補正技術により最適化され、今後規格化される色域に対応可能な広い色域
Matrix：従来のビデオカメラと同様に、Matrix設定により色域を選択（撮影モードがCustomモード時）

ご注意

S-Gamut/SLog2選択時のガンマカーブはS-Log2固定となり、S-Gamut3.Cine/SLog3およびS-Gamut3/SLog3選択時のガンマカーブはS-Log3固定となります。

イメージャースキャンモード

イメージセンサーの撮像方法の設定を行います。
SystemメニューのBase Setting（84ページ）の、Imager Scan Modeで切り換えます。

Normal：スロー&クイックモーションのハイフレームレートモード時以外は、Super 35mmサイズのフル画角をそのまま使用します。
CameraメニューのS&Q Motion（64ページ）の、High Frame Rate Modeの設定がFull Scanのときは、Super 35mmサイズのフル画角のまま2K datalに変換して使用します。Center Scanのときは、画面中心部のSuper 35mmの半分のサイズの2K画角を使用します。
2K Full：常時Super 35mmサイズのフル画角を2Kに変換して使用します。
2K Center：常時画面中心部のSuper 35mmの半分のサイズの2K画角を使用します。

記録フォーマット

選択できるフォーマットは、システム周波数と本線記録信号の設定によって異なります。

システム周波数	本線記録信号	記録フォーマット
59.94/50	YPbPr	XAVC 4096×2160 P* XAVC 3840×2160 P* XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i MPEG 1280×720 P
	RGB	XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i
	RAW	XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i
29.97/25/23.98	YPbPr	XAVC 4096×2160 P* XAVC 3840×2160 P* XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i SStP SR-SQ 422 SStP SR-Lite 422
	RGB	XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i SStP SR-SQ 444
	RAW	XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i
24	YPbPr	XAVC 4096×2160 P* XAVC 2048×1080 P SStP SR-SQ 422 SStP SR-Lite 422
	RGB	XAVC 2048×1080 P SStP SR-SQ 444
	RAW	XAVC 2048×1080 P

* PMW-F55のみ

SystemメニューのRec Format（85ページ）の、Formatで切り換えます。
SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

SxSメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売り）に記録します。

SxSメモリーカードについて

本機では、下記のソニー製SxSメモリーカードおよびXQDメモリーカード*をご使用ください。

* XQDメモリーカードを使用する際にはXQD ExpressCard アダプター（QDA-EX1）が必要です。

記録フォーマットおよびHigh Frame Rate ModeのOn/Offによって使用可能なメモリーカードが異なります。

SxS PRO+

SBP-128B、SBP-64B：すべての記録フォーマット、High Frame Rate Mode：On/Offで使用可能

SxS PRO

SBP-64A、SBP-32：SStP SR-Lite 422、XAVC 1920×1080 P、1920×1080 P（High Frame Rate Mode：Off時のみ)、MPEG 1920×1080 P/i、1280×720 P

SxS-1

SBS-64G1A、SBS-32G1A：MPEG 1920×1080 P/i、1280×720 P

XQDメモリーカード Sシリーズ

QD-S64E、QD-S32E：すべての記録フォーマット、High Frame Rate Mode：On/Offで使用可能

XQDメモリーカード Nシリーズ

QD-N64：MPEG 1920×1080 P/i, 1280×720 P

ソニー製SxSメモリーカードおよびソニー製XQDメモリーカード以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

これらのカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

◆SxSメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、SxSメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です。
- XQDはソニー株式会社の商標です。
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

SxSメモリーカードを入れる

1 カードスロット部（13ページ）のカバーを開ける。

2 SxSメモリーカードを、SxSのラベルを右にしてカードスロットに差し込む。

ACCESSランプ（13ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

3 カバーを閉める。

ACCESS ランプによる状態表示

A と B のカードスロットの状態を示すために、それぞれに ACCESS ランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	• SxSメモリーカードが装着されていない。 • 使用できないカードが装着されている。 • SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

SxSメモリーカードを取り出す

1 **カードスロット部のカバーを開け、EJECTボタン（13ページ）を押してボタンを引き出す。**

2 **もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。**

ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン（13ページ）を押して使用するカードを切り換えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わります。

ご注意

記録中および再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。サムネイル画面（49ページ）表示中はボタン操作が有効です。

SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、メッセージ「フォーマットが必要なメディアです」がビューファインダー画面に表示されます。下記の手順に従ってフォーマットしてください。

MediaメニューのFormat Media（80ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、MENUダイヤルを押して画面を消します。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

ご注意

メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、サブディスプレイ画面（16ページ）およびビューファインダー画面（18ページ）のA/Bスロットメディア状態/残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。
現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、RECランプの点滅とブザー音で警告します。
  空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。
記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」（Media Full）が表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。
修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。
下記の手順に従って修復を実行してください。

MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
修復が終了すると、完了メッセージが表示されますので、MENUダイヤルを押して画面を消します。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxS メモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

  1 専用アプリケーションソフトウェア（108ページ）を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。

  2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。

  3 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

管理ファイルを更新する

クリップが再生できない状態になったときは、管理ファイルを更新することによって症状が改善する場合があります。
管理ファイルの更新には、Mediaメニューの Update Media（80ページ）を使用します。
また、RAW Viewer V2.2以降でエクスポートされたXAVCファイルを、直接SxSメモリーカードの「XDROOT/Clip」ディレクトリー内に書き込んだ場合、このUpdate Mediaを実行することにより再生が可能になります。

SDカードを使う

本機では、カメラの設定値ファイルをSDカード（別売り）に保存することができます。保存したファイルはSDカードから読み込んで使用できます。

本機で使用可能なSDカード

SDHCメモリーカード*（Speed Class：4～10/UHS非対応/容量：2～32GB）
SDメモリーカード*（File system：FAT16/容量：2GBまで）
* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードを入れる

1 **カードスロット部（13ページ）のカバーを開ける。**

2 **SDカードのラベルを上にしてカードスロットに差し込む。**
ACCESSランプ（13ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

3 **カバーを閉める。**

ACCESS ランプによる状態表示

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSDカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
消灯	• SDカードが装着されていない。 • 使用できないカードが装着されている。

SDカードを取り出す

カードスロット部のカバーを開け、SDカードを軽く1回押して取り出す。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

SDカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。
本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。
本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がビューファインダー画面に表示されます。下記の手順に従ってフォーマットしてください。

MediaメニューのFormat Media（80ページ）で、SD Cardを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、MENUダイヤルを押して画面を消します。

ご注意

メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する

メディアステータス画面（12ページ）を表示させると、SDカードの残量を確認することができます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

AXS-R5を使う

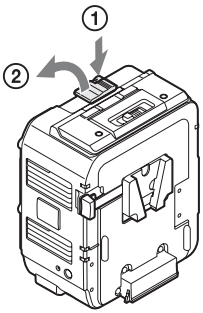
本機にAXS（Access Memory Card System）レコーダー AXS-R5（別売り）を取り付けて、RAWフォーマットの映像・音声を記録できます。

AXS-R5を取り付ける

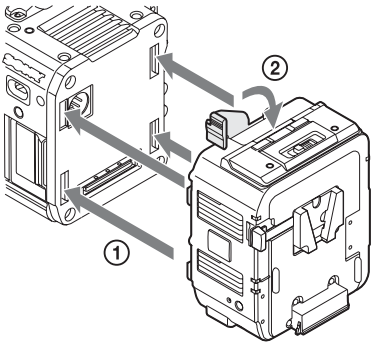
ご注意

AXS-R5の取り付け/取りはずしは、本機の電源を切った状態で行ってください。

1 AXS-R5のリリースボタンを押して（①）、脱着レバーをポップアップさせ、脱着レバーを上まで引き上げる（②）。



2 本機後面の溝にAXS-R5のツメを差し込み（①）、脱着レバーを倒す（②）。



ご注意

- 脱着レバーを確実に引き上げてから装着してください。
- 4か所のツメを確実に装着してから脱着レバーを倒してください。装着不良、または破損の原因となります。

AXS-R5を取りはずす

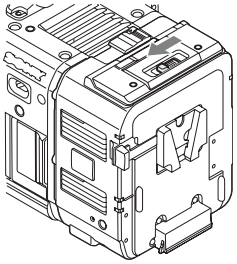
リリースボタンを押して脱着レバーを引き上げ、AXS-R5を上にスライドさせながら手前に引いてはずす。

ご注意

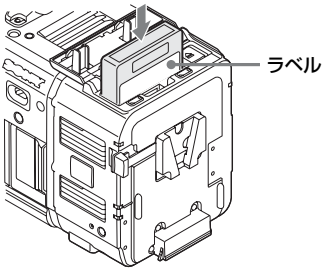
AXS-R5を取りはずす際は、必ず手で支えながらはずしてください。

AXSメモリーカードを入れる

1 AXS-R5上部のメモリースロットカバー開閉ボタンをスライドさせてカバーを開ける。



2 AXSメモリーカードのラベルを図の向きにしてカードスロットに差し込む。



3 カバーを閉める。

AXSメモリーカードを取り出す

AXS-R5のカバーを開け、EJECTボタンを押して取り出す。

ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

AXSメモリーカードに記録する

SystemメニューのBase Setting（84ページ）で、Shooting ModeをCine EI、Main OperationをRAWに設定します。
AXS-R5の設定は、SystemメニューのAXS Recorder（88ページ）で行います。

AXSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

本機に装着されたAXS-R5で初めてAXSメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。
AXS-R5で使用するAXSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。AXSレコーダーを装着して本機の電源を入れたときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。
AXS-R5が対応していないフォーマットで初期化されたAXSメモリーカードを装着すると、メッセージ「フォーマットが必要なメディアです」が本機のビューファインダー画面に表示されます。
下記の手順に従ってフォーマットしてください。

MediaメニューのFormat Media（80ページ）で、AXS Memoryを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、MENUダイヤルを押して画面を消します。

ご注意

メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、サブディスプレイ画面（16ページ）およびビューファインダー画面（18ページ）のAXSメモリー状態/残量表示部で、装着したAXSメモリーカードの残量を確認することができます。
現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、メディアの残量から計算して分単位で表示します。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、🔒マークが表示されます。

AXSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。
修復が必要なAXSメモリーカードを装着したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。
下記の手順に従って修復を実行してください。

MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
修復が終了すると、完了メッセージが表示されますので、MENUダイヤルを押して画面を消します。

修復できなかったときは

- プロテクトされたAXSメモリーカードや、エラーが発生したAXSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のAXSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したAXSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。

- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

管理ファイルを更新する

クリップが再生できない状態になったときは、管理ファイルを更新することによって症状が改善する場合があります。
管理ファイルの更新には、MediaメニューのUpdate Media（80ページ）を使用します。

USBワイヤレスLANモジュールを使う

本機にUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）を取り付けると、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をWi-Fi接続することができます。

ご注意

- USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）は国・地域によって利用できない場合があります。
- IFU-WLM3を取り付け、または取りはずすときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- 無線機器を本機の近くで使用すると、誤動作することがあります。本機の近くでは、無線機器の電源はできるだけ切ってください。
- IFU-WLM3以外のUSBワイヤレスLANモジュールは使用できません。

Wi-Fi接続されたデバイスと本機の間では、以下の操作が可能です。

- 本機のセットアップメニューの操作
- 本機の記録、再生制御
- 本機の現在の情報（ステータス）の表示
- 本機の撮影設定、システム設定の切り換え
- 本機のアサイナブルボタンの操作

IFU-WLM3を取り付ける

1. **USBワイヤレスLANモジュール格納部（13ページ）のカバーを開ける。**
2. **IFU-WLM3をUSB端子に差し込む。**
3. **カバーを閉じる。**

Wi-Fi接続する

ご注意

同時に接続できるWi-Fi機器は1台のみです。

ネットワークを設定する

必要に応じて、SystemメニューのBasic Authentication（88ページ）の設定を変更します。

項目	設定内容
User Name	ログインするときのユーザー名（工場出荷時の設定：admin）
Password	ログインするときのパスワード（工場出荷時の設定：機種名「pmw-f5」または「pmw-f55」）

メニューの設定および文字列の入力については、「セットアップメニューの操作方法」（57ページ）をご覧ください。

接続する

1 SystemメニューのWi-Fi（88ページ）で、Wi-FiをEnableに設定する。

2 デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続するか、Wi-Fiダイレクトを用いて接続する。

本機のSSIDおよびパスワードについては、SystemメニューのWi-Fi（88ページ）の、SSID & Passwordでご確認ください。

Wi-Fiダイレクトで接続する場合は、以下の手順を行います。

3 SystemメニューのWi-Fiの、Wi-Fi Direct ConnectionでExecuteを選んで決定する。

セットアップメニューが消えて、Wi-Fiダイレクトによる接続待機のメッセージが表示されます。

プッシュボタン方式による接続

デバイス側でプッシュボタン方式による接続を行うと、接続待機画面に接続許可を求めるメッセージが表示されますので、Executeを選んで決定します。

PIN コード方式による接続

デバイス側からPINコード方式による接続を行うと、接続待機画面にデバイスの機器名およびPINコードが表示されます。デバイスにPINコードを入力して、本機との接続を完了させてください。

Wi-Fiリモコンを使用する

Wi-Fi接続時は、スマートフォンやタブレットなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。

Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

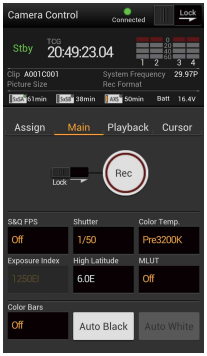
ご注意

Wi-Fiリモコンは、以下の機能には対応していません。

- Zoom、Focus、Irisの制御
- サムネイル画面表示

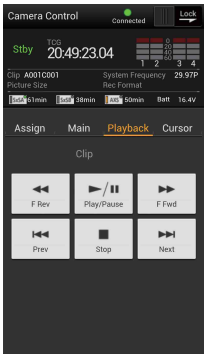
Wi-Fi Remote 画面（スマートフォン）

Main画面



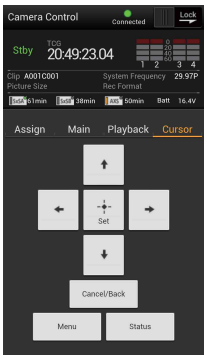
- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
  動作状態、タイムデータ、オーディオレベルメーター、クリップ名、記録フォーマット、メディア状態/残量、バッテリー残量/DC IN電圧
- 撮影設定表示
  S&Q FPS、Shutter、Color Temp.、Sensitivity/Gain/Exposure Index、Gamma、MLUT、Color Bars、Auto Black、Auto White

Playback画面



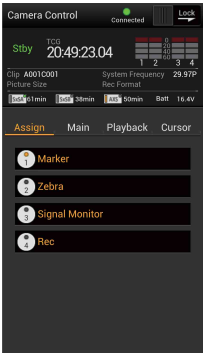
- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
- 再生操作ボタン
  F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー /ステータス表示
  Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、Status

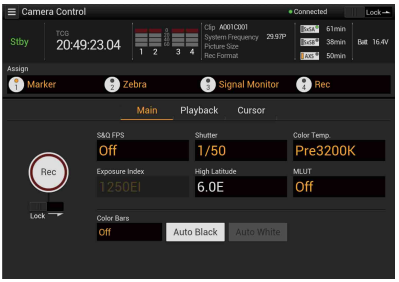
Assign画面



- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
- アサイナブルボタン表示
  アサイナブルボタン1～4

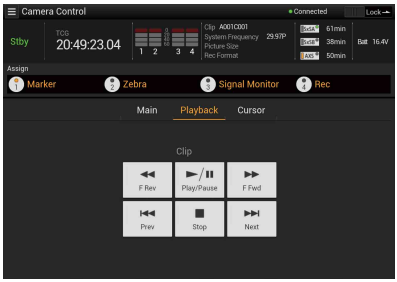
Wi-Fi Remote 画面（タブレット）

Main画面



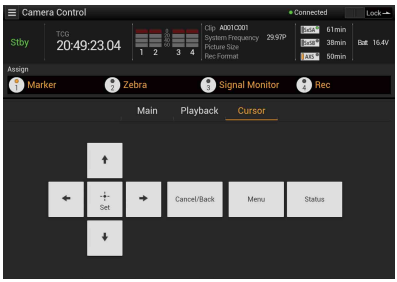
- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
  動作状態、タイムデータ、オーディオレベルメーター、クリップ名、記録フォーマット、メディア状態/残量、バッテリー残量/DC IN電圧
- アサイナブルボタン表示
  アサイナブルボタン1～4
- 撮影設定表示
  S&Q FPS、Shutter、Color Temp.、Sensitivity/Gain/Exposure Index、Gamma、MLUT、Color Bars、Auto Black、Auto White

Playback画面



- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
- アサイナブルボタン表示
- 再生操作ボタン
  F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- Wi-Fi 接続状態表示（Connected/Disconnected）
- ステータス表示
- アサイナブルボタン表示
- カーソル操作ボタン、メニュー /ステータス表示
  Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、Status

Wi-Fiリモコンを表示する

Wi-Fi Remote 画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り換わります。

1 本機とデバイスをWi-Fi接続（36ページ）する。

2 デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス（Systemメニュー→Wi-Fi→IP Address）/rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「10.0.0.1」の場合は、アドレスバーに「http://10.0.0.1/」と入力します。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード（Systemメニュー→Basic Authentication→User NameおよびPassword）を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。
以降は、画面表示のとおりに操作してください。
Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致しなくなることがあります。その場合は、ブラウザーの表示を更新してください。
  —接続中に本機を再起動した場合
  —接続中に本機を操作した場合
  —デバイスを再接続した場合
  —ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能しなくなることがあります。

対応デバイスについて

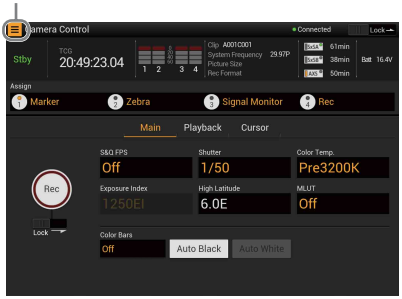
Wi-Fiリモコンとして使用できるデバイス、OS、ブラウザーは以下のバージョン以降です。

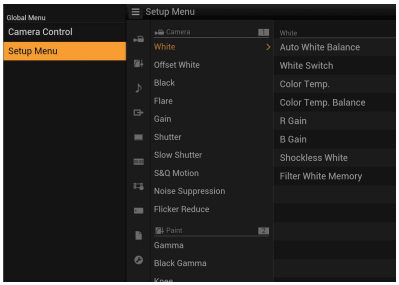
デバイス	OS	ブラウザー
スマートフォン	Android 4.3/4.4	Chrome V31
	iOS 7	Safari 6
タブレット	Android 4.3/4.4	Chrome V31
	iOS 7	Safari 6

Wi-Fiリモコンでセットアップメニューを操作する（タブレットのみ）

タブレットのWi-Fi Remote画面左上のMenuアイコン（☰）をタップすると、グローバルメニューが現れるので、ここからSetup Menuを選ぶと、セットアップメニュー画面が表示されます。
元のカメラコントロール画面に戻るには、グローバルメニューのCamera Controlを選びます。

Menuアイコン





Wi-Fi Remote画面（タブレット）では、セットアップメニューの以下の項目を設定/表示できます（○：対応、－：非対応）。

Cameraメニュー	
White	○
Offset White	○
Black	○
Flare	○
Gain	○
Shutter	○
Slow Shutter	○
Auto Exposure	－
S&Q Motion	○
Color Bars	－
Noise Suppression	○
Flicker Reduce	○
Image Inversion	－
Lens Interface	－
Paintメニュー	
Gamma	○
Black Gamma	○
Knee	○
White Clip	○
Detail	○
Aperture	○
Skin Detail	○
Matrix	○
Multi Matrix	○
Audioメニュー	
Audio Input	－
Audio Level	－
Audio Output	○
Videoメニュー	
Output On/Off	○
Output Format	○
Output Setting	○
Monitor LUT	○
Output Display	○
VFメニュー	
VF Setting	－
Peaking	－
Marker	○
Zebra	－
Display On/Off	－
TCメニュー	
Timecode	○
TC Display	○
Recordingメニュー	
Picture Cache Rec	○
MPEG2 Proxy	○
Rec Control	○
SDI Rec Control	○
Mediaメニュー	
Update Media	－
Format Media	○
Clip Naming	○
Fileメニュー	
All File	○
Scene File	○

User Menu Item	—
User Gamma	○
Monitor LUT	○
Monitor 3D LUT	○
Lens File	○
Maintenanceメニュー	
APR	—
Test Saw	—
Camera Config	—
Systemメニュー	
System Setting	○
Base Setting	○
Rec Format	○
Genlock	—
Assignable Button	—
Switch / Lamp	—
Fan Control	○
Battery Alarm	—
DC Voltage Alarm	—
Language	—
Clock Set	—
Hours Meter	—
AXS Recorder	—
Basic Authentication	—
Wi-Fi	—
All Reset	—
Version	○

ご注意

- Wi-Fiリモコンでセットアップメニューを表示しているときは、本体側ではSystemメニューのBasic AuthenticationとWi-Fi以外の設定はできません。
- Wi-Fiリモコンでセットアップメニューを表示しているときは、本体のサブディスプレイでの設定変更はできません。

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

1 **必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**

2 **必要なメモリーカードを入れる。**
SxSメモリーカードは2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。

3 **電源スイッチ（11ページ）をONにする。**
ビューファインダーに撮影画面が表示されます。

4 **RECボタン（10ページ）を押す。**
RECランプが点灯して、記録が始まります。

ご注意

REC操作を受け付けた後、すぐに記録を開始できない場合はRECランプが点滅に変わり、記録開始されると点灯します。

5 **記録を終了するときは、もう一度RECボタンを押す。**
記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（Stby）のときは、記録したクリップを再生することができます。

1 **再生するSxSメモリーカードを入れる。**

2 **機能ボタン（13ページ）のVIEWボタンを1回押して、VIEW-1画面を表示させる。**

3 **サブディスプレイのPrevボタンまたはF Revボタンを押して、再生したいクリップを頭出しする。**

4 **サブディスプレイのPlay/Pauseボタンを押す。**
ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生操作はサブディスプレイのボタンで行います。

Play/Pauseボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F Fwdボタン/F Revボタン：高速再生します。Play/Pauseボタンを押すと標準再生に戻ります。

Stopボタン：再生を停止し、記録停止状態にします。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー（11ページ）またはヘッドホンでモニターできます。
ヘッドホン端子（13ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。
モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、AudioメニューのAudio Output（71ページ）で行います。

頭出しする

クリップの先頭から再生するには

サブディスプレイ（16ページ）のPrevボタンまたはNextボタンを押して頭出しします。
複数回押すことで、クリップを飛ばして頭出しすることができます。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン（13ページ）を押して切り換えます。

ご注意

再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。
またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

AXSメモリーカードに切り換える

AXS-R5に挿入したAXSメモリーカードに記録された映像を、簡易現像して再生することができます。
AXSメモリーカードに切り換えるには、AXS-R5のSELECTボタンを押します。
再生信号は本機の出力端子から出力されます。

ご注意

本機とAXS-R5を接続しているときは、AXS-R5のAUX OUT端子からはEE*のみ出力されます。再生画は出力されません。再生画は本機より出力されます。

* スロー&クイックモーションモード設定時はEE出力されません。

クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、MediaメニューのClip Naming（80ページ）で設定された形式でクリップ名がつけられます。Shot Numberおよびクリップ番号は、記録順に自動的にカウントアップされます。

Cam ID + Reel#形式のクリップ名（80ページ）で記録を行う場合、以下の規則に従ってクリップ名が生成されます。

- 挿入されたAXS メモリーカードにCam ID + Reel#形式のクリップ名が存在している場合は、その情報が継承されます。
  例：「B002C003_XXXXXXXX」がAXSメモリーカードに存在している場合
  次に生成されるクリップは「B002C004_XXXXXXXX」になります。
  その際、SystemメニューのAXS RecorderのCamera IDは「B」に、Reel Numberは「002」に変更されます。また、記録開始まで撮影中の画面に表示される情報のクリップ名表示が点滅します。
- 空のAXSメモリーカードを挿入した場合は、前回記録したクリップのReel Numberに1だけ追加されます。
  例：カード1で「D001CXXX_XXXXXXXX」まで記録した後、空のカード2を入れて記録行った場合
  次に生成されるクリップは「D002C001_XXXXXXXX」になり、記録開始までクリップ名表示が点滅します。
- MediaメニューのClip NamingのCamera IDや、Reel Numberを設定した場合は、その情報が有効になります。
  例：「E003CXXX_XXXXXXXX」まで記録したAXSメモリーカードのCamera IDとReel Numberをメニューから変更した場合
  Camera IDを「F」に、Reel Numberを「001」に変更すると、次に記録されるクリップは「F001CXXX_XXXXXXXX」になります。また、Camera IDだけを変更すると、Reel Numberは「001」に変更されます。

Title形式のクリップ名（80ページ）で記録を行う場合、Title Prefixで設定した任意の文字列（1～46文字）+ Number Setで設定したクリップ番号（0001～9999）でクリップ名を付けることができます。

クリップの最大時間

クリップの最大時間は6時間です。
録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

電子シャッター

シャッター速度（蓄積時間）を設定して撮影します。
CameraメニューのShutter（63ページ）の、SettingをOnにすると、Shutterで設定したモードでのシャッター速度がONになります。

ご注意

ビューファインダー倍速駆動機能（48ページ）が有効なときは、電子シャッターはOn固定となり、開角度換算で180°以下に制限されます。

シャッターモードと速度を設定する

CameraメニューのShutter（63ページ）の、Mode（シャッターモード）とSelect（速度の設定方法）を選択して、Shutter Valueで速度を設定します。

スローシャッターで撮影する

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。低照度の状況下でノイズの少ないクリアな映像を撮影したいときや、残像を伴う幻想的な映像を撮影したいときに便利なモードです。
CameraメニューのSlow Shutter（64ページ）の、SettingをOnに設定し、Number of Framesで蓄積フレーム数を設定します。

感度 / ゲイン / 色温度 / ホワイトバランス

撮影モードの設定によって設定内容が異なります。
この設定は、セットアップメニューのほか、サブディスプレイでも設定可能です。

Cine EIモード時：感度（EI 値）と色温度を選択する

感度をCameraメニューのGain（61ページ）のExposure Indexで設定します。
Cine EIモードでは、RAW信号またはMLUTをOffに設定した映像出力を本線として記録することを想定しており、本線信号の感度は標準感度固定とし、MLUTをOnに設定した映像信号出力のみEI値に合わせて画像の明るさを変化させます。
MLUT On側の映像を使用して、ポストプロダクション処理での増感減感処理結果を撮影時に確認することができます。
感度（EI 値）には、次の値が設定できます。
PMW-F5：500EI、640EI、800EI、1000EI、1250EI、1600EI、2000EI、2500EI、3200EI、4000EI、5000EI、6400EI、8000EI
PMW-F55：320EI、400EI、500EI、640EI、800EI、1000EI、1250EI、1600EI、2000EI、2500EI、3200EI、4000EI、5000EI
色温度は、CameraメニューのWhite（60ページ）で、Preset 3200K（タングステン）、4300K（タングステン）または5500K（デイライト）から選択します。

Customモード時：感度またはゲインと、色温度またはホワイトバランスを選択する

CameraメニューのGain（61ページ）で、感度（ISO）またはゲイン（dB）を選択します。
CameraメニューのWhiteにて色温度またはホワイトバランスを選択します。
色温度は、Preset 3200K（タングステン）、4300K（タングステン）、または5500K（デイライト）以外に、CameraメニューのWhite（60ページ）のColor Temp.で任意の温度を選択できます。
ホワイトバランスは、CameraメニューのWhiteのAuto White Balanceで自動調整するか、Color Temp. Balance、R Gain、B Gainで手動で調整します。

音声

録音レベルを調整する

AudioメニューのAudio Level（71ページ）の、CH-1 Audio Select/CH-2 Audio SelectをAutoに設定すると、録音レベルは自動調整されます。
Manualにすると録音レベルを手動で調整できます。AudioメニューのAudio Levelの、CH-1 Audio Level/CH-2 Audio Levelで録音レベルを調整してください。

ご注意

音声入力信号にAES/EBU信号が選択されているチャンネルは、録音レベルが固定になります。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UBメニュー（78ページ）のTimecodeで設定します。

便利な機能

アサイナブルボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサイナブルボタンが4個（11、13ページ）あります。
さらに、レンズのRETボタンにも機能を割り当てることができます。

機能を変更する

SystemメニューのAssignable Button（86ページ）を使用します。
割り当てられた機能は、アサイナブルボタンステータス画面（12ページ）で確認することができます。

割り当てられる機能

機能名	内容
Marker	センターマーカー、セーフティーゾーン、アスペクトマーカーのON/OFF
Zebra	ゼブラ機能のON/OFF
Peaking	ピーキング機能のON/OFF
Display	モニター画面への状態/設定表示のON/OFF
Video Signal Monitor	SDI（Sub）に出力されている信号の波形表示の切り換え
VF Mode	ビューファインダー画面のカラー/モノクロ切り換え
Rec	記録開始/記録停止の実行
S&Q Motion	スロー＆クイックモーションのON/OFF
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能のON/OFF
Rec Review	レックレビューの実行
High/Low Key	High Key（高輝度の白飛び確認画面）/Low Key（低輝度の黒つぶれ確認画面）/Off（通常画面）の切り換え
VF High Contrast	ビューファインダー映像のコントラスト強調の実行

スロー&クイックモーション

Main OperationをRAWまたはYPbPrに設定し、システム周波数と記録フォーマット（84ページ）が下記に設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

Main Operation	記録フォーマット	システム周波数	フレームレート[1)]
RAW	－（AXS単独記録時）	23.98P/24P/25P/29.97P/50P/59.94P	1～240P[2)]
YPbPr	XAVC 4096×2160P	23.98P/24P/25P/29.97P/50P/59.94P	1～60P
	XAVC 3840×2160P	23.98P/25P/29.97P/50P/59.94P	1～60P
	XAVC 2048×1080P	23.98P/24P/29.97P/59.94P	1～180P
		25P/50P	1～150P
	XAVC 1920×1080P	23.98P/29.97P/59.94P	1～180P
		25P/50P	1～150P

*1)*High Frame Rateモードが Offのときの設定値は1～60です。

*2)*AXSとSxSに同時記録する場合は、SxS側の設定範囲となります。

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スローシャッター設定時は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- High Frame RateモードがFull Scanで、フレームレートを61P以上に設定した場合、映像内の高解像度部分にモアレが発生することがあります。気になる場合は、別売りのOptical 2K Filter CBK-55F2Kを装着することで軽減させることができます。
- High Frame RateモードがOff以外の場合は、記録実行中にカードがフルになっても、もう1枚のカードに自動的に切り換わりません。
- スロー&クイックモーションは、ピクチャーキャッシュと同時に使用することはできません。スロー&クイックモーションモードを選択すると、ピクチャーキャッシュは無効になります。また、ピクチャーキャッシュを有効にすると、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。

数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュ機能）

撮影している映像/音声データを、本機のメモリーに常時数秒間（最大15秒間）分蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。

RecordingメニューのPicture Cache Rec（79ページ）の、SettingをOnにして記録を開始すると、設定した蓄積時間（Cache Rec Time）にさかのぼって映像を記録します。

ピクチャーキャッシュ機能は、以下の設定時に有効です。

- システム周波数が29.97、25、24、23.98で、記録フォーマットがXAVC 4096×2160 P/XAVC 3840×2160 P/XAVC 2048×1080 P/XAVC 1920×1080 P
- 記録フォーマットがMPEG 1920×1080 P/MPEG 1920×1080 i/MPEG 1280×720 P 。

一度選択したピクチャーキャッシュモードは、設定を変更するまで保持されます。

ご注意

- システム周波数が29.97、25、24、23.98の場合、記録フォーマットによりCache Rec Timeの設定に制限があります。
  —XAVC 4096×2160 P/XAVC 3840×2160 Pのとき：0-2secに固定
  —XAVC 2048×1080 P/XAVC 1920×1080 Pのとき：8-10sec、13-15secは選択不可
- ピクチャーキャッシュは、スロー&クイックモーションと同時に使用することはできません。ピクチャーキャッシュモードを選択すると、スロー&クイックモーションは無効になります。また、スロー&クイックモーションを有効にすると、ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- 記録フォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。ピク

チャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- ピクチャーキャッシュモードでは、1スロット同時記録はできません。
- 記録中にピクチャーキャッシュの設定を変更することはできません。
- 記録中にビューファインダー倍速駆動機能の設定を変更することはできません。

同時記録

1スロットのSxSメモリーカードに2つの画サイズの映像を同時に記録したり、AXS-R5にRAWフォーマットの映像・音声を記録しながら、本体のSxSメモリーカードにHD信号を同時に記録することができます。

ご注意

同時記録時は、記録実行中にカードがフルになっても、もう1枚のカードに自動的に切り換わりません。

1スロットに同時記録する – MPEG2 Proxy機能（PMW-F55のみ）

記録フォーマットがXAVC 4096×2160/XAVC 3840×2160で29.97P/25P/23.98Pに設定されている、または記録フォーマットがSStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422で29.97Pに設定されているときに、RecordingメニューのMPEG2 Proxy（79ページ）のSettingをOnにします。
XAVC 4096×2160/XAVC 3840×2160またはSStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422の映像とMPEG2 1920×1080の映像信号が同一スロットのSxSメモリーカードに同時記録されます。
XAVC 4096×2160/XAVC 3840×2160またはSStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422のクリップは、SxSメモリーカードのXDROOT/Clipディレクトリー下に記録されますが、MPEG2 1920×1080のクリップは、SxSメモリーカードのXDROOT/Subディレクトリー下に記録され、クリップ名は末尾に「S02」のサフィックスが追加されます。

ご注意

- スロー&クイックモーションモードおよびピクチャーキャッシュレックモードでは、1スロット同時記録はできません。
- Cine EIモード時に同時記録されるMPEG2 Proxy映像は、MLUT On固定となります。

AXSとSxSに同時記録する

SystemメニューのBase Setting（84ページ）のMain OperationがRAWに設定されているときに、RecordingメニューのRec Control（79ページ）のSettingで、SxS & AXSを選択します。
RAWフォーマットの映像と、記録フォーマットで設定されたフォーマットの映像が同時記録されます。

レックレビュー

アサイナブルボタン（45ページ）のいずれかにRec Reviewを割り当てると、直前に記録したクリップの映像を画面で確認（レックレビュー）できます。

記録を停止し、Rec Reviewを割り当てたアサイナブルボタンを押すと、クリップの最終フレームの2秒前から1倍速で再生します。Rec Reviewを割り当てたアサイナブルボタンを1秒以上押し続けると、クリップの最終フレームの2秒前から4倍速で巻き戻しを開始し、ボタンを離すとその位置から1倍速で再生します。

クリップの終りまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY（記録待機）モードに戻ります。

ご注意

レックレビュー中は、セットアップメニューなどの操作はできません。

拡大フォーカス機能

本機に装着されたビューファインダー（DVF-L350、DVF-EL100、DVF-L700）のFOCUS MAGボタンを押すことによって、ビューファインダーの画面中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。フォーカスを合わせたら、もう一度ボタンを押すことで、通常（記録）画角の表示に戻ります。
拡大表示中は、記録映像やその他の出力信号に影響はありません。

フォルスカラー表示

本機に装着されたビューファインダー（DVF-EL100、DVF-L700）のSPAREボタンを押すことによって、ビューファインダー内にフォルスカラー（偽色）表示を行うことができます。

◆ フォルスカラー表示について詳しくは、DVF-EL100またはDVF-L700の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ビューファインダーに出力されている映像信号のGammaがS-Log2のときのみ表示可能です。

ビューファインダー倍速駆動機能

システム周波数が23.98P、24P、25P、29.97Pの場合、フレーム周波数が低いため左右に振って撮影するような場合に映像がぶれて見にくい場合があります。
このような場合にビューファインダー倍速駆動機能を有効にすることで、ビューファインダーの映像のブレが軽減され、見やすくすることができます。
VFメニューのVF Setting（74ページ）の、Double Speed DriveをOnに設定することで、機能を有効にすることができます。

ご注意

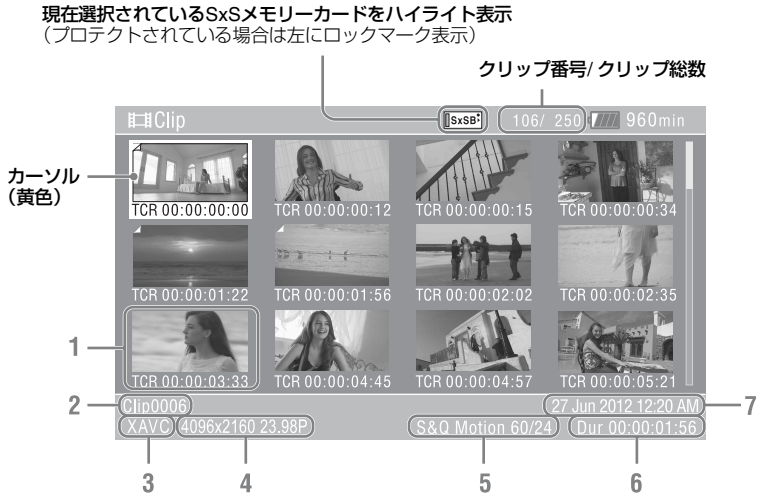
- 以下のいずれかの設定状態では、本機能を有効にすることはできません。
  —システム周波数が59.94/50の場合
  —記録フォーマットがSStP SR-SQ 444/SStP SR-Lite 422/SStP SR-SQ 422の場合
  —CameraメニューのSlow ShutterのSettingがOnに設定されている場合
  —CameraメニューのS&Q MotionのSettingがOnで、Frame Rateの設定が1～60Pの場合
- 本機能が有効で、CameraメニューのS&Q MotionのSettingがOffのときは、電子シャッターはOn固定となり、開角度換算で180°以下に制限されます。

サムネイル画面

サブディスプレイのThumbnailボタン（16ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。
サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。
サブディスプレイのThumbnailボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



1. サムネイル（縮小画）
各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。
サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。サムネイルメニューのCustomize View（50ページ）の、Thumbnail Captionで表示内容を変更できます。

2. クリップ名/タイトル
選択されているクリップのクリップ名またはタイトルが表示されます。

3. ファイルフォーマット
選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 記録時のビデオフォーマット

5. 特殊記録撮影情報
特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。
スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

6. クリップの収録時間（Duration）

7. 作成日時

クリップの再生

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

1 **MENUダイヤル（10ページ）を回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。**

2 **MENUダイヤルを押す。**
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- MENUダイヤルを押して再生を始めるには、SystemメニューのSwitch/Lamp（86ページ）の、Set Key on ThumbnailをPlayに設定します。
- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れのない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、サブディスプレイ（VIEW-1）のPrevボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

クリップ操作

サムネイル画面では、サムネイルメニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などが可能です。
サムネイル画面でOPTIONボタン（12ページ）を押すとサムネイルメニューが表示されます。

サムネイルメニューの操作方法

MENUダイヤル（10ページ）を回して機能を選択し、MENUダイヤルを押してください。
CANCEL/BACKボタン（10ページ）を押すと、操作前の画面に戻ります。
サムネイルメニューでOPTIONボタンを押すと、サムネイルメニューが消えます。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップ操作メニュー

Display Clip Properties
クリップの詳細情報画面を表示する（51ページ）。

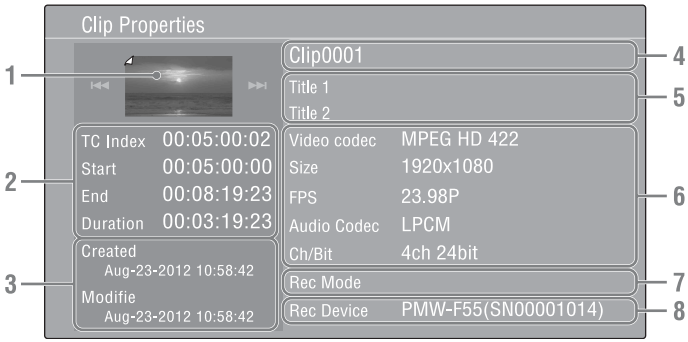
Copy MPEG2 Proxy（PMW-F55のみ）
Copy All Clips：全てのMPEG2 Proxyデータを、コピー先のメディアへクリップとしてコピーする（51ページ）。

Delete Clip
Select Clip：任意のクリップを削除する（52ページ）。

Customize View
Thumbnail Caption：サムネイル画像下の表示内容を切り換える（52ページ）。

クリップの詳細情報を表示する

サムネイルメニューでDisplay Clip Propertiesを選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. タイムコード表示

TC Index：表示されている画像のタイムコード

Start：記録開始点のタイムコード

End：記録終了点のタイムコード

Duration：収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. クリップ名

5. クリップタイトル1/2

6. 記録フォーマット

Video Codec：ビデオコーデック

Size：画サイズ

FPS：フレームレート

Audio Codec：音声コーデック

Ch/Bit：音声記録チャンネル数/音声記録ビット数

7. 特殊記録撮影情報

8. 収録機器名

MPEG2 Proxyデータをコピーする（PMW-F55のみ）

クリップに記録されているすべてのMPEG2 Proxyデータを、別のSxSメモリーカードにクリップとしてコピーします。
コピー先のSxSメモリーカードには、MPEG2 Proxyデータの「S02」サフィックスを外したクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
  括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
  例： Clip0002→Clip0002(1)
  Clip0002(1)→Clip0002(2)
  Clip0005(3)→Clip0005(4)
- コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999) がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。

クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。
サムネイルメニューのDelete Clipから Select Clipを選びます。
1度に複数のクリップを選択することもできます。削除するクリップの選択が終わったらOPTIONボタン（12ページ）を押します。

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。
サムネイルメニューのCustomize Viewの、Thumbnail Captionから、表示したい内容を選びます。
Date Time：作成日時または最終変更日時
Time Code：タイムコード
Duration：収録時間
Sequential Number：サムネイル番号

サブディスプレイの操作方法

サブディスプレイでは、本機の状態の確認や基本的な項目の設定、および再生操作ができます。

- CAMERA画面：カメラの基本的な項目の設定
- FILE画面：ファイルの呼び出し
- AU/TC画面：オーディオやタイムコードの設定
- VIEW画面：通常再生やサムネイル画面での操作

◆画面表示について詳しくは、「画面表示」の「サブディスプレイ画面」（16ページ）をご覧ください。

操作部

機能ボタン（13 ページ）
サブディスプレイの画面を切り換えます。同じ機能に複数の画面がある場合は、機能ボタンを繰り返し押します。

- CAMERA（カメラ）ボタン
- FILE（ファイル）ボタン
- AU/TC（オーディオ/タイムコード）ボタン
- VIEW（ビュー）ボタン

項目ボタン（13 ページ）
サブディスプレイの項目を選びます。

SEL/SET ダイヤル（MENU ダイヤル）（10 ページ）
回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。MENUダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACK ボタン（10 ページ）
一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

ご注意

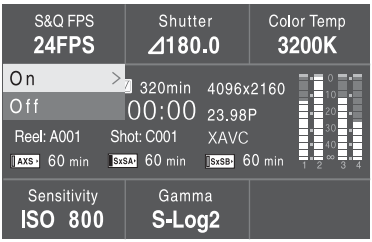
MENUボタン（12ページ）を押してセットアップメニューが表示されていたり、STATUSボタン（11ページ）を押してステータス画面が表示されている状態では、VIEW画面以外の操作はできません。

基本的な項目を設定する

1 機能ボタンを押して、設定する機能の画面を選ぶ。

2 項目ボタンで設定したい項目を選ぶ。
設定を変更できる項目は、設定値がオレンジ色になっています。

3 MENUダイヤルで選択項目または設定値にカーソルを合わせる。



4 MENUダイヤルを押して決定する。

操作ボタンとして使う

VIEWボタン（13ページ）を押してVIEW-1/VIEW-2画面（16ページ）を表示させ、表示された機能を項目ボタンで操作します。
サブディスプレイでのカーソル操作は、セットアップメニュー（57ページ）やクリップ操作（50ページ）で使用できます。

サブディスプレイ設定項目一覧

各項目名称と設定内容は以下のとおりです。

CAMERA画面

CAMERA-1

項目名称	設定内容
S&Q FPS	On：スロー&クイックモーションモードを有効にし、フレームレート（撮影コマ数）を設定する。（選択肢は64ページ参照） Off：スロー&クイックモーションモードを無効にする。
Shutter	電子シャッターのスピード/開角度を設定する。 以下の11通りの選択肢から選択する。 Off：電子シャッター機能をOFFにする。 Step Shutter値：Step Shutterとして登録されている8種類のプリセット値から選択する。（選択後、プリセット値を変更することができます。） Continuous：設定可能な任意のスピード/開角度を選択する。（設定可能範囲は63ページ参照） SLS：スローシャッター機能を選択する。（選択後、蓄積フレーム数を設定します。）
Color Temp	ホワイトバランスの色温度を設定する。 Preset 3200K/4300K/5500K：ホワイトバランスを色温度3200K/4300K/5500Kのプリセット値に設定する。 Memory：ホワイトメモリーに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 ご注意 撮影モード（84ページ）がCine EIのときは、Memoryは選択できません。
Sensitivity/Gain/Exposure Index	感度/ゲインを設定する。 Gainの設定モード（61ページ）によって項目名（Sensitivity/Gain）や設定値が異なる。（選択肢は61ページ参照） 撮影モード（84ページ）がCine EIのときは項目名が「Exposure Index」になり、EI値を設定する。（選択肢は62ページ参照）
Gamma/High Latitude	ガンマカテゴリーおよびガンマテーブルを設定する。 STD：スタンダードガンマを選択する。STD1 DVW / STD2 x4.5 / STD3 x3.5 / STD4 240M / STD5 R709 / STD6 x5.0 HG：ハイパーガンマを選択する。HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / HG4 4609G33 / HG7 8009G40 / HG8 8009G33 S-Log2：S-Log2を選択する。 S-Log3：S-Log3を選択する。 ご注意 撮影モード（84ページ）がCine EIのときはHigh Latitudeを表示する。
MLUT	LUT/Look Profileの選択および設定する。（選択肢は73ページ参照）

CAMERA-2

項目名称	設定内容
Color Bars	カラーバーをON/OFFする。
Auto White	オートホワイトバランスを実行する。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
Auto Black	オートブラックバランスを実行する。
Sub&HDMI	撮影モード（84ページ）がCine EIのときに、SDI（Sub）およびHDMI出力の映像にモニター LUTを適用するかどうかを選択する。
Viewfinder	撮影モード（84ページ）がCine EIのときに、ビューファインダー出力の映像にモニター LUTを適用するかどうかを選択する。
SDI(Sub)Disp.	SDI（Sub）出力がHD以下のとき、SDI（Sub）出力信号に、文字、マーカーを重畳するかを選択する。

FILE画面

FILE-1

項目名称	設定内容
All File Load 1〜6	SDカードスロットに挿入されたSD CardからAllファイル（1〜6）を呼び出す。

FILE-2

項目名称	設定内容
Scene Recall 1〜5/ Standard	内蔵メモリーからSceneファイル（1〜5またはStandard）を呼び出す。

FILE-3

項目名称	設定内容
Lens Recall 1〜6	内蔵メモリーからレンズファイル（1〜6）を呼び出す。

AU/TC（オーディオ/タイムコード）画面

AU/TC-1

項目名称	設定内容
MIC CH1 Ref	AUDIO IN CH1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを、–60dB/–50dB/–40dBから選択する。
CH1 Input	Auto：録音レベルは自動調整される。 Manual：録音レベルを–99〜+99の値で調整する。 ご注意 音声入力信号にAES/EBU信号が選択されている場合は、録音レベルが固定になります。
CH1 Select	AUDIO IN CH1の入力ソースを表示する。
MIC CH2 Ref	AUDIO IN CH2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを、–60dB/–50dB/–40dBから選択する。

項目名称	設定内容
CH2 Input	Auto：録音レベルは自動調整される。 Manual：録音レベルを–99～+99の値で調整する。 ご注意 音声入力信号にAES/EBU信号が選択されている場合は、録音レベルが固定になります。
CH2 Select	AUDIO IN CH2の入力ソースを表示する。

AU/TC-2

項目名称	設定内容
Monitor CH	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。（選択肢は71ページ参照）
Monitor Level	モニター音量を0～99の値で調整する。

AU/TC-3

項目名称	設定内容
Display	タイムデータの表示（Timecode / Duration）を切り換える。
Reset	タイムコードおよびカウンターを00:00:00:00にリセットする。
Set	タイムコードを任意の値に設定する。
Mode	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset(Ext)（プリセット）：設定された状態から歩進する。 Int. Regen（リジェネ）：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。
Run	タイムコードの歩進する条件を設定する。 Rec Run：記録時のみ歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。
TC Source	タイムコードの外部ロック状態を表示する。 Internal：スロー＆クイックモーションがOff、タイムコードの歩進がPreset (Ext-Lk)モード/Free Runで、タイムコードがロックしていないとき。 External：スロー＆クイックモーションがOff、タイムコードの歩進がPreset (Ext-Lk)モード/Free Runで、タイムコードがロックしているとき。 表示なし：上記以外の場合。

セットアップメニューの操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニター、サブディスプレイに表示させることもできます）。

メニュー操作部

MENU ボタン（12 ページ）
セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

SEL/SET ダイヤル（MENU ダイヤル）（10 ページ）
回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
MENUダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACK ボタン（10 ページ）
一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

上 / 下 / 左 / 右ボタン、SET ボタン（16 ページ）
サブディスプレイ（VIEW-2）の上/下/左/右ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

ご注意

拡大フォーカスモード（48ページ）になっていると、セットアップメニューは操作できません。

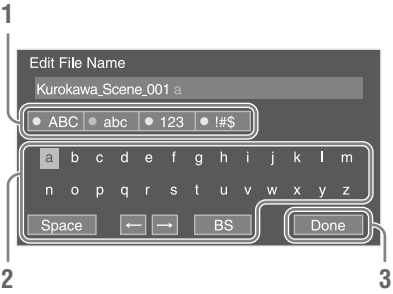
メニューを設定する

MENUダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、MENUダイヤルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：–99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



1 MENUダイヤルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。
ABC：英大文字
abc：英小文字
123：数字
!#$：特殊文字

2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。
カーソルが次の欄に移動します。
Space：カーソルの位置にスペースを入力します。
←/→：カーソル位置を移動します。
BS：カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。
文字列を確定して、入力画面が消えます。

Userメニュー

Camera、Paint、Audio、Video、VF、TC/UB、Recording、Media、File、Maintenance、Systemの各メニューから任意のメニュー項目をコピーして設定できるメニューです。使用頻度の高い項目をあらかじめ登録しておくことで、必要に応じてすぐに呼び出せます。
Userメニューには20項目まで登録することができます。

出荷時には、以下の10項目が登録されています。

- System Setting（Systemメニュー）
- Base Setting（Systemメニュー）
- Rec Format（Systemメニュー）
- Rec Control（Recordingメニュー）
- Output Format（Videoメニュー）
- Monitor LUT（Videoメニュー）
- Clip Naming（Mediaメニュー）
- VF Setting（VFメニュー）
- Assignable Button（Systemメニュー）
- Format Media（Mediaメニュー）

Userメニューは以下の階層で構成されています。

第1階層	第2階層	第3階層	編集機能リスト	内容
User Menu	登録されている項目			項目を設定する。
	Edit User Menu	登録されている項目	Delete	項目を削除する。
			Move	項目を移動する。
			Edit SubItem	細目を編集する。
		Add Item		項目を追加する。
		Customize Reset		Userメニューの登録を初期化する。

カスタマイズしたUserメニュー項目を、User Menu ItemファイルとしてSD Cardに保存できます。また、SD Cardから読み出して、本体にUserメニュー項目を再現することもできます。

ご注意

同じ項目/細目を2回登録することはできません。また、項目/細目の名称を変更することはできません。

登録した項目を編集する

1. **セットアップメニューのUser Menuを表示する。**
   登録されている項目が表示されます。
2. **User MenuからEdit User Menuを選択する。**
3. **編集したい項目を選択する。**
   編集機能リストが表示されます。
4. **編集内容を選択する。**
   Delete：選んだ項目を削除します。
   Move：選んだ項目を移動します。移動したい位置へ▶印を移動させて決定します。
   Edit SubItem：選んだ項目の細目を編集します。細目を選び、決定操作で細目の登録/非登録（チェックボックスの✓の有/無）を選択します。設定が終わったら、OKを選択して決定します。

項目を追加する

1. **User MenuからEdit User Menu→Add Itemを選択する。**
   Userメニューへの登録可能項目が表示されます。
2. **登録したい項目を選択する。**
   選んだ項目の細目編集画面が表示されます。
3. **細目の登録の有無を選択する。**
   細目を選び、決定操作で細目の登録/非登録（チェックボックスの✓の有/無）を選択します。

4 OKを選択する。
追加した項目がUser Menuに表示されます。

Userメニューの登録を初期化する

1 User MenuからEdit User Menu→Customize Resetを選択する。

2 Reset→Executeを選択する。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Preset 3200K** ）で示します。

Cameraメニュー

Camera

メニュー項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバランスの設定	Auto White Balance Execute / Cancel	オートホワイトバランスを実行する。 Execute：実行 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
	White Switch **Preset 3200K** / Preset 4300K / Preset 5500K / Memory	Whiteの動作モードを設定する。 Preset 3200K/4300K/5500K：ホワイトバランスを色温度3200K/4300K/5500Kのプリセット値に設定する。 Memory：マニュアルでホワイトバランスを調整する。ワンプッシュのオートホワイトバランスを実行する。 （Memory設定は、SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	Color Temp. 1500K～50000K（**3200K**）	ホワイトメモリーに保存されたホワイトバランスの色温度を表示および設定する。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
	Color Temp. Balance –99～+99（**±0**）	Color Temp.で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
	R Gain –99～+99（**±0**）	メモリーに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
	B Gain –99～+99（**±0**）	メモリーに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
	Shockless White Off / **1** / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り換え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 Off：瞬時に切り換わる。 1～3：数字が大きいほどゆっくり切り換わる。
	Filter White Memory On / **Off**	NDフィルターのポジション番号ごとにホワイトバランスのメモリー領域を設定する機能をON/OFFする。
Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定	Setting On / **Off**	Auto White Balance（ワンプッシュ）に対するオフセットホワイト機能をON/OFFする。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）
	Offset <Memory> –99～+99（**±0**）	Auto White Balance（ワンプッシュ）に対するオフセットホワイト量を設定する。 （White SwitchがMemoryのときのみ有効）

Camera		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Black ブラックの設定	Auto Black Balance Execute / Cancel	オートブラックバランスを実行する。 Execute：実行
	Master Black –99～+99（**±0**）	マスターブラックレベルを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	R Black –99～+99（**±0**）	Rブラックレベルを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	B Black –99～+99（**±0**）	Bブラックレベルを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
Flare フレア補正の設定	Setting **On** / Off	フレア補正機能をON/OFFする。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効、Shooting ModeがCine EIのときはOffに固定）
	Master Flare –99～+99（**±0**）	本体に起因するフレア補正のマスターフレアのユーザー調整値を設定する。
	R Flare –99～+99（**±0**）	本体に起因するフレア補正のRフレアのユーザー調整値を設定する。
	G Flare –99～+99（**±0**）	本体に起因するフレア補正のGフレアのユーザー調整値を設定する。
	B Flare –99～+99（**±0**）	本体に起因するフレア補正のBフレアのユーザー調整値を設定する。
Gain ゲインの設定	Mode **ISO** / dB	Gain設定モードを選択する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	Gain • PMW-F5： Gain設定モードがISO、Gamma CategoryがSTDまたはHG（HG1/HG2/HG3/HG4）のとき **ISO 800**～ISO 6400 Gain設定モードがISO、Gamma CategoryがHG（HG7/HG8）のとき **ISO 1600**～ISO 12500 Gain設定モードがISO、Gamma CategoryがS-Log2またはS-Log3のとき **ISO 2000**～ISO 16000	Gainを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）

メニュー項目	細目と設定値	内容
	• PMW-F55： Gain設定モードがISO、Gamma CategoryがSTDまたはHG（HG1/HG2/HG3/HG4）のとき **ISO 500**～ISO 4000 Gain設定モードがISO、Gamma CategoryがHG（HG7/HG8）のとき **ISO 1000**～ISO 8000 Gain設定モードがISO、Gamma CategoryがS-Log2またはS-Log3のとき **ISO 1250**～ISO 10000 Gain設定モードがdBのとき –3dB / **0dB** / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 18dB	
	Exposure Index • PMW-F5： 500EI～8000EI（**2000EI**） • PMW-F55： 320EI～5000EI（**1250EI**）	EI値を設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCine EIのときのみ有効） **ご注意** 各EI値のHighlight Latitude値は以下のとおりです。 • PMW-F5 500EI：4.0E / 640EI：4.3E / 800EI：4.7E / 1000EI：5.0E / 1250EI：5.3E / 1600EI：5.7E / 2000EI：6.0E / 2500EI：6.3E / 3200EI：6.7E / 4000EI：7.0E / 5000EI：7.3E / 6400EI：7.7E / 8000EI：8.0E • PMW-F55 320EI：4.0E / 400EI：4.3E / 500EI：4.7E / 640EI：5.0E / 800EI：5.3E / 1000EI：5.7E / 1250EI：6.0E / 1600EI：6.3E / 2000EI：6.7E / 2500EI：7.0E / 3200EI：7.3E / 4000EI：7.7E / 5000EI：8.0E
	Highlight Latitude 4.0E～8.0E（**6.0E**）	Exposure Indexの設定に応じたHighlight Latitudeを表示する。
	Remote Gain L –3dB / **0dB** / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 18dB	RM（RM-B150）のゲインスイッチLのレベルを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	Remote Gain M –3dB / 0dB / 3dB / **6dB** / 9dB / 12dB / 18dB	RM（RM-B150）のゲインスイッチMのレベルを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）

Camera

メニュー項目	細目と設定値	内容
	Remote Gain H –3dB / 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / **12dB** / 18dB	RM（RM-B150）のゲインスイッチHのレベルを設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	Shockless Gain On / **Off**	ショックレスゲイン機能をON/OFFする。
Shutter 電子シャッターの動作条件の設定	Setting **On** / Off	電子シャッター機能をON/OFFする。
	Mode **Speed** / Angle	電子シャッターの動作モードを選択する。
	Select **Step** / Continuous	電子シャッターのスピードの設定方法を選択する。
	Shutter Value	シャッタースピード/開角度を設定する。 Speedモード：シャッタースピード Angleモード：シャッター開角度 設定値は、フォーマット設定およびシャッターセレクト（設定方法）により異なる。

動作モードがSpeedのとき

フォーマット設定	Step	Continuous
59.94P	1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000	1/60～1/8000
59.94i		1/60～1/7000
50P 50i	1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000	1/50～1/7000
29.97P	1/50 / 1/60 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000	1/30～1/8000
25P	1/30 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000	1/25.02～1/7000 S&Q Motion On時 1/30～1/7000
24P	1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/120 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000	1/24.02～1/6000 S&Q Motion On時 1/30.02～1/6000
23.98P	1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/120 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000	1/23.99～1/6000 S&Q Motion On時 1/30.03～1/6000

動作モードがAngleのとき

フォーマット設定	Step	Continuous
59.94P 59.94i	216.0 / 180.0 / 120.0 / 90.0 / 45.0 / 22.5 / 11.2 / 5.6	359.7～4.2
50P 50i	300.0 / 180.0 / 150.0 / 90.0 / 45.0 / 22.5 / 11.2 / 5.6	
29.97P	216.0 / 180.0 / 120.0 / 90.0 / 45.0 / 22.5 / 11.2 / 5.6	
25P	300.0 / 180.0 / 150.0 / 90.0 / 45.0 / 22.5 / 11.2 / 5.6	
24P 23.98P	180.0 / 172.8 / 144.0 / 90.0 / 45.0 / 22.5 / 11.2 / 5.6	

Camera メニュー項目	細目と設定値	内容
	Step Select Execute / Cancel	Step設定のShutter Value（8種類のプリセット値）を変更する。 Add：ステップシャッター値を新たに追加登録する。すでにStep 8 まで登録されている場合は、あらかじめDeleteでいずれかを削除して空き番号を作成する。 Delete：登録されているステップシャッター値を削除する。 Step 1～8：登録されているステップシャッター値を表示する。
Slow Shutter スローシャッターの設定	Setting On / **Off**	スローシャッター機能をON/OFFする。 （記録中は、On/Offの設定変更はできません。）
	Number of Frames **2** / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8	スローシャッター機能の蓄積フレーム数を設定する。
Auto Exposure 映像レベルの自動調整機能の設定 （アイリス制御対応しているレンズ装着時のみ有効）	Level +2.0～–2.0（**±0**）	オートアイリスの制御目標レベル（明るめ/暗め）を設定する。
	Speed –99～+99（**±0**）	オートアイリスの制御スピードを設定する。
	Clip High light On / **Off**	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をON/OFFする。
	Detect Window 1～6（**1**）	検出ウィンドウの種類を選択する。
	Detect Window Indication On / **Off**	検出ウィンドウの枠をマーカーで表示する機能をON/OFFする。
S&Q Motion スロー&クイックモーションの設定	Setting On / **Off**	スロー&クイックモーションモードをON/OFFする。 スロー&クイックモーションモードは、SystemメニューのRec Formatが以下のときは無効 • MPEG 1920×1080 / 1280×720 • SStP SR-SQ 444 / 422 • SStP SR-Lite 422 （SystemメニューのBase Setting→Main OperationがRGBのときは無効）
	High Frame Rate Mode **Off** / Full Scan / Center Scan	60Pより早い高速撮像方式を設定する。 Off：60Pより早い高速撮像を行わない。 Full Scan：Super35mmサイズの画角で高速撮像を行う。 Center Scan：画面中央部分のSuper35mmサイズの半分の画角で高速撮像を行う。 **ご注意** SystemメニューのBase Setting→Imager Scan Modeが2K Fullのときは Full Scan固定となります。また、2K Centerのときは Center Scan固定となります。

Camera メニュー項目	細目と設定値	内容
	Frame Rate 1～240（**24**）	スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 **ご注意** 設定できるフレームレートは以下のようになります。 High Frame Rate ModeがOffのとき 1～60（24） High Frame Rate ModeがFull ScanまたはCenter Scanのとき • SystemメニューのBase SettingのMain OperationがRAWで、RecordingメニューのRec ControlがAXSのとき ―72、75、80、90、96、100、110、120、125、135、144、150、160、168、175、180、240 • SystemメニューのBase SettingのMain OperationがRAWで、RecordingメニューのRec ControlがSxS&AXSのとき ―72、75、80、90、96、100、110、120、125、135、144、150、160、168、175、180（システム周波数：23.98/24/29.97/59.94） ―72、75、80、90、96、100、110、120、125、135、144、150（システム周波数：25/50） • SystemメニューのBase SettingのMain OperationがYPbPrのとき ―72、75、80、90、96、100、110、120、125、135、144、150、160、168、175、180（システム周波数：23.98/24/29.97/59.94） ―72、75、80、90、96、100、110、120、125、135、144、150（システム周波数：25/50） （SystemメニューのBase Setting→Main OperationがRGBのときは無効）
Color Bars カラーバーの設定	Setting **Off** / On	カラーバーをON/OFFする。
	Type **ARIB** / SMPTE / 75% / 100%	カラーバーの種類を選択する。
Noise Suppression ノイズサプレスの設定	Setting **On** / Off	ノイズサプレス機能をON/OFFする。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）
	Level Low / **Mid** / High	ノイズサプレスのレベルを設定する。
Flicker Reduce フリッカー補正モードの設定	Mode Auto / On / **Off**	フリッカー補正モードを設定する。
	Frequency 50Hz / **60Hz**	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。
Image Inversion 画像反転の設定	Setting **Normal** / V Inv	画像反転を設定する。

Camera		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Lens Interface レンズインターフェースの設定	Setting Type C / Type A / Type C+12P / Type A+12P / **Off**	接続するレンズの種類に応じて、接続前にあらかじめレンズインターフェースを設定する。 マウントアダプター LA-FZB1/FZB2（別売り）使用時は、Type Cを選択してください。 Lens 12pin付きのレンズマウントアダプター（サービスパーツ）使用時は、Type C+12PまたはType A+12Pを選択してください。 **ご注意** レンズを装着した状態で設定を変更した場合は、電源を再投入してください。
	Zoom Limit **Off** / Zoom Range 1 / Zoom Range 2	電動ズームレンズのズーム動作範囲の制限を設定する。

Paintメニュー

Paintメニューの設定は、SystemメニューのBase Setting（84ページ）の、Shooting ModeがCustomのときのみ有効です。

Paint		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Gamma ガンマ補正の設定	Setting **On** / Off	ガンマ補正機能をON/OFFする。
	Step Gamma 0.35～0.90（**0.45**）	ガンマ補正値を0.05ステップで設定する。
	Master Gamma –99～+99（**±0**）	マスターガンマレベルを設定する。
	R Gamma –99～+99（**±0**）	Rガンマレベルを設定する。
	G Gamma –99～+99（**±0**）	Gガンマレベルを設定する。
	B Gamma –99～+99（**±0**）	Bガンマレベルを設定する。
	Gamma Category **STD** / HG / User / S-Log2 / S-Log3	スタンダードガンマ（STD）、ハイパーガンマ（HG）、ユーザーガンマ（User）、S-Log2、S-Log3を選択する。

Paint		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
	Gamma Select Gamma CategoryがSTDのとき STD1 DVW / STD2 x4.5 / STD3 x3.5 / STD4 240M / **STD5 R709** / STD6 x5.0 Gamma CategoryがHGのとき HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / **HG4 4609G33** / HG7 8009G40 / HG8 8009G33 Gamma CategoryがUserのとき **User 1** / User 2 / User 3 / User 4 / User 5 Gamma CategoryがS-Log2のとき **S-Log2** Gamma CategoryがS-Log3のとき **S-Log3**	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
Black Gamma ブラックガンマ補正の設定	Setting On / **Off**	ブラックガンマ補正機能をON/OFFする。 （PaintメニューのGamma→Gamma CategoryがSTDのときのみ有効）
	Range LOW / **HIGH**	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。 LOW：0～3.6 % HIGH：0～28.8 %
	Master Black Gamma –2～+2（**±0**）	マスターブラックガンマレベルを設定する。
Knee ニー補正の設定	Setting **On** / Off	ニー補正機能をON/OFFする。 （Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効）
	Point 75%～109%（**90%**）	ニーポイントを設定する。
	Slope –99～+99（**±0**）	ニースロープを設定する。
	Knee Saturation **On** / Off	ニーサチュレーション機能をON/OFFする。
	Knee Saturation Level –99～+99（**±0**）	ニーサチュレーションレベルを設定する。

Paint		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
White Clip ホワイトクリップ調整の設定	Setting **On** / Off	ホワイトクリップ調整機能をON/OFFする。 （Gamma設定のGamma CategoryがSTDまたはHGのときのみ有効）
	Level システム周波数の設定が59.94, 29.97, 23.98のとき 90.0%～109.0%（**108.0%**） システム周波数の設定が50, 25, 24のとき 90.0%～109.0%（**105.0%**）	ホワイトクリップレベルを設定する。
Detail ディテール調整の設定	Setting **On** / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level –99～+99（**±0**）	ディテールレベルを設定する。
	H/V Ratio –99～+99（**±0**）	Hディテールレベルと Vディテールレベルのミックス比を設定する。
	Crispening –99～+99（**±0**）	クリスプニングレベルを設定する。
	Level Depend **On** / Off	レベルディペンド調整機能をON/OFFする。
	Level Depend Level –99～+99（**±0**）	レベルディペンドのレベルを設定する。
	Frequency –99～+99（**±0**）	Hディテール信号の中心周波数を設定する。（値を大きくするほどディテールは細くなる。）
	Knee Aperture **On** / Off	ニーアパーチャー補正機能をON/OFFする。
	Knee Aperture Level –99～+99（**±0**）	ニーアパーチャーレベルを設定する。
	Limit –99～+99（**±0**）	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する。
	White Limit –99～+99（**±0**）	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit –99～+99（**±0**）	黒側のディテールリミッターを設定する。
	V Black Limit –99～+99（**±0**）	黒側のVディテールリミッターを設定する。
	V Detail Creation NAM / **Y** / G / G+R	Vディテール信号を生成するためのソース信号を選択する。 NAM：R信号から作られたVディテール信号と、G信号から作られたVディテール信号と、B信号から作られたVディテール信号のうち、最もレベルの高い信号 Y：Y信号 G：G信号 G+R：G信号とR信号を1：1で合成した信号

Paint		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Aperture アパーチャー補正の設定	Setting **On** / Off	アパーチャー補正機能をON/OFFする。
	Level –99～+99（**±0**）	アパーチャーレベルを設定する。
Skin Detail スキンディテール補正の設定	Setting On / **Off**	スキンディテール補正機能をON/OFFする。
	Area Detection Execute / Cancel	スキンディテール補正の対象となる色を検出する。 Execute：実行
	Area Indication On / **Off**	スキンディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をON/OFFする。
	Level –99～+99（**±0**）	スキンディテールレベルを設定する。
	Saturation –99～+99（**±0**）	スキンディテール補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。
	Hue **0**～359	スキンディテール補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
	Width 0～90（**40**）	スキンディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。
Matrix マトリクス補正の設定	Setting **On** / Off	マトリクス補正機能をON/OFFする。
	Preset Matrix **On** / Off	プリセットマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Select • PMW-F5： **Standard** / High Saturation / FL Light / Cinema / F55 709 Like • PMW-F55： 1：SMPTE240M / **2：ITU-709** / 3：SMPTE Wide / 4：NTSC / 5：EBU / 10：S-Gamut3.Cine Like / 11：S-Gamut3 Like	プリセットマトリクスを選択する。
	User Matrix On / **Off**	ユーザーマトリクス補正機能をON/OFFする。
	Level –99～+99（**±0**）	映像全域の色の濃さ（サチュレーション）を調整する。
	Phase –99～+99（**±0**）	映像全域の色あい（フェーズ）を調整する。

Paint		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
	User Matrix R-G –99～+99（**±0**）	マトリクス係数を個別に設定し、映像全域の色相を微調整する。
	User Matrix R-B –99～+99（**±0**）	
	User Matrix G-R –99～+99（**±0**）	
	User Matrix G-B –99～+99（**±0**）	
	User Matrix B-R –99～+99（**±0**）	
	User Matrix B-G –99～+99（**±0**）	
Multi Matrix マルチマトリクス補正の設定	Setting On / **Off**	16軸の色相（ヒュー）空間で飽和度（サチュレーション）を設定するマルチマトリクス補正をON/OFFする。
	Area Indication On / **Off**	画面上のマルチマトリクス補正の対象となる色の部分にゼブラパターンを表示する。
	Color Detection Execute / Cancel	マルチマトリクス補正の対象となる色を検出する。 Execute：実行
	Axis **B** / B+ / MG– / MG / MG+ / R / R+ / YL– / YL / YL+ / G– / G / G+ / CY / CY+ / B–	マルチマトリクス補正の対象となる色（16軸モード）を設定する。
	Hue –99～+99（**±0**）	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相（ヒュー）を16軸ごとに設定する。
	Saturation –99～+99（**±0**）	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を16軸ごとに設定する。

Audioメニュー

Audio

メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声入力の設定 **ご注意** オーディオコネクター部を取りはずしているときは選択できません。	MIC CH1 Ref –60dB / **–50dB** / –40dB	AUDIO IN CH1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	MIC CH2 Ref –60dB / **–50dB** / –40dB	AUDIO IN CH2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	Limiter Mode **Off** / –6dB / –9dB / –12dB / –15dB / –17dB	オーディオ入力レベルの手動調整時、大きな入力信号に対するリミッター特性（飽和レベル）を選択する。リミッターを使用しない場合はOffを選択する。
	1kHz Tone on Color Bars On / **Off**	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	CH-1 Wind Filter On / **Off**	チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH-2 Wind Filter On / **Off**	チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
Audio Level 録音レベルの設定 **ご注意** • オーディオコネクター部を取りはずしているときは選択できません。 • AES/EBU信号が選択されているチャンネルの録音レベルは固定になります。	CH-1 Audio Select **Auto** / Manual	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。
	CH-2 Audio Select **Auto** / Manual	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。
	CH-1 Audio Level –99～+99（**±0**）	CH1 Audio SelectでManualを選択時、録音レベルを調整する。
	CH-2 Audio Level –99～+99（**±0**）	CH2 Audio SelectでManualを選択時、録音レベルを調整する。
	AGC Spec **–6dB** / –9dB / –12dB / –15dB / –17dB	AGCの特性（飽和レベル）を選択する。
	AGC Mode **Mono** / Stereo	チャンネル1、2に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を、各チャンネルで独立して行うか（Mono）、ステレオモードで行うか（Stereo）を選択する。
Audio Output 音声出力の設定	Output CH **CH-1/CH-2** / CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Monitor CH Output CHがCH-1/CH-2のとき **CH-1/CH-2** / CH-1 / CH-2 Output CHがCH-3/CH-4のとき **CH-3/CH-4** / CH-3 / CH-4	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2（CH-3/CH-4）：チャンネル1, 2（チャンネル3, 4） CH-1（CH-3）：チャンネル1（チャンネル3）のみ CH-2（CH-4）：チャンネル2（チャンネル4）のみ
	Headphone Out Mono / **Stereo**	ヘッドホンをモノラル（Mono）にするか、ステレオ（Stereo）にするかを選択する。
	Monitor Level **0**～99	モニター音量を調整する。

Videoメニュー

Video

メニュー項目	細目と設定値	内容
Output On/Off 映像出力の設定	SDI(Sub) **On** / Off	SDI（Sub）の出力をON/OFFする。
	HDMI On / **Off**	HDMIの出力をON/OFFする。
Output Format 出力フォーマットの設定	SDI(Main)	SDI（Main）出力フォーマットを選択する。 SystemメニューのSystem Setting→Frequencyと、SystemメニューのRec Formatの設定によって設定値が異なる（95ページ）。
	SDI(Sub)	SDI（Sub）出力フォーマットを選択する。 SystemメニューのSystem Setting→Frequencyと、VideoメニューのOutput Format→SDI（Main）の設定によって設定値が異なる（95ページ）。
	HDMI	HDMI出力フォーマットを選択する。 SystemメニューのSystem Setting→Frequencyと、SystemメニューのRec Formatの設定によって設定値が異なる（98ページ）。
	EXT IF	拡張IF出力信号を表示する。
	Test	Video出力信号を表示する。
Output Setting 出力変換モードの設定	4K/2K to HD Conv. **Letter Box** / Edge Crop / Anamo x1.3 / Anamo x2	ビデオ出力フォーマットがYPbPrの信号の画枠を設定する。 Letter Box / Edge Crop：17:9→16:9信号の出力変換モードを設定する。（SystemメニューのRec Format→FormatがXAVC 4096×2160 PまたはXAVC 2048×1080 Pのときのみ有効） Anamo x1.3 / Anamo x2：アナモフィックレンズを使用したときに、Video出力の表示映像を歪みのない映像にする。（SystemメニューのBase Setting→Main Operationの設定がRAWのときのみ有効） ご注意 SystemメニューのBase Setting→Main OperationがRAWのときのHD出力信号、およびRecordingメニューのRec Control→SettingがSxS & AXSのときの本体内記録信号はLetter Box相当となります。
	SD Mode Letter Box / Edge Crop / **Squeeze**	SD信号の出力モード（アスペクト）を設定する。

Video		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Monitor LUT モニター LUTの設定	Category **LUT** / Look Profile / User 3D LUT	Monitor LUTとして適用するLookの種類を選択する。 LUT：Preset LUTもしくはUser LUTを適用した映像を出力する。 Look Profile：Lookナンバーを選択することで、カラーグレーディングの開始点に適した映像やプリントフィルムに近づけた映像を出力する。 User 3D LUT：User 3D LUTを適用した映像を出力する。（SystemメニューのBase SettingのColor Spaceが S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3のときのみ選択可能）
	LUT Select **P1: 709(800%)** P2: HG8009G40 P3: HG8009G33 P4: S-Log2 P5: S-Log3 U1 U2 U3 U4 U5 U6	Monitor LUTのCategoryがLUTのときの、LUTの種類を選択する。 709(800%)：ITU-R709 をベースにダイナミックレンジを800% まで拡張した信号。 HG8009G40：ダイナミックレンジ800%、ホワイトリミット109%、18%グレーカードのビデオ出力40% のハイパーガンマを使用した信号。 HG8009G33：ダイナミックレンジ800%、ホワイトリミット109%、18%グレーカードのビデオ出力33% のハイパーガンマを使用した信号。 S-Log2：ポストプロダクション処理を前提とし、かつVideo Monitorでの視認性も考慮したダイナミックレンジ1300%のLog信号。（SystemメニューのBase SettingのColor SpaceがS-Gamut/SLog2のときのみ選択可能。Color SpaceはS-Gamutになります。） S-Log3：Cineon Logカーブに近い、よりフィルム特性に似せたダイナミックレンジ1300%のLog信号。（SystemメニューのBase SettingのColor SpaceがS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3のときのみ選択可能。Color SpaceはS-Gamut3になります。） U1～U6：SD Cardからインポートした任意のLUTの信号。
	Look Profile Select **1: LC-709** 2: LC-709typeA 3: SLog2-709 4: Cine+709	Monitor LUTのCategoryがLook Profileのときの、Look Profileの種類を選択する。
	User 3D LUT Select **User 3D-1** / User 3D-2 / User 3D-3 / User 3D-4	SD Cardからインポートした任意の3D LUT信号を選択する。
	SDI(Main)&Internal Rec MLUT On / **MLUT Off**	SDI（Main）出力およびSxSメモリーカードに記録する映像にMonitor LUTを適用するか選択する。（Main OperationがRGBのときにはMLUT Off固定）

Video		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
	SDI(Sub)&HDMI MLUT On / **MLUT Off**	SDI（Sub）出力およびHDMI出力する映像にMonitor LUTを適用するか選択する。 （S&Q MotionやVF倍速駆動が有効な場合、またはRAW再生時は、SDI(Main)&Internal Rec設定に従う*） * SDI出力フォーマットが4K/QFHDで、HDMI出力を4K/QFHDとした場合、HDMI出力映像はSDI(Main)&Internal Rec設定に従い、HDMI出力を2K/HDとした場合は、MLUT On固定となります。
	Viewfinder MLUT On / **MLUT Off**	ビューファインダー出力の映像にMonitor LUTを適用するか選択する。 （S&Q MotionやVF倍速駆動が有効な場合、またはRAW再生時は、SDI(Main)&Internal Rec設定に従う*） * SDI出力フォーマットが4K/QFHDに設定されている場合、ビューファインダー出力映像はMLUT On固定となります。
Output Display 出力信号の設定	VF Out **On** / Off	ビューファインダー出力信号に、文字、マーカーを重畳するか選択する。
	4K/QFHD SDI/HDMI Out （PMW-F55のみ） On / **Off**	SDI、HDMIの画サイズが4K/QFHDのとき、SDI、HDMI出力信号に、文字、マーカーを重畳するかを選択する。
	HD/SD SDI(Sub) Out **On** / Off	SDI（Sub）出力がHD以下のとき、SDI（Sub）出力信号に、文字、マーカーを重畳するかを選択する。
	HD/SD HDMI Out On / **Off**	HDMI出力がHD以下のとき、HDMI出力信号に、文字、マーカーを重畳するかを選択する。
	Forced Menu Disp **VF** / SDI/HDMI / Sub Display	各出力のOutput Displayの設定がOffの状態でも、MENUボタンを押したときに必ずメニューを表示する出力先を選択する。 VF：VF（ビューファインダー出力）端子に接続されたビューファインダー SDI/HDMI：SDI OUT3、SDI OUT4（Sub）端子、HDMI OUT端子に接続されたモニター Sub Display：サブディスプレイ画面 **ご注意** VFまたはSDI/HDMIに設定されているときは、サブディスプレイ画面にメニューは表示されません。

VFメニュー

装着したビューファインダーに、メニュー項目に該当するボタンやダイヤルがある場合、その項目は無効となります。

VF		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
VF Setting ビューファインダーの設定	Color –99～+99（**±0**）	ビューファインダー映像の色の濃さを調整する。
	Contrast –99～+99（**±0**）	ビューファインダー映像のコントラスト（明暗の差）を調整する。

VF メニュー項目	細目と設定値	内容
	Brightness –99～+99（**±0**）	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
	Color Mode **Color** / B&W	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
	Aspect **Auto** / Full / Anamo x1.3 / Anamo x2	ビューファインダーに表示する映像の表示エリアを選択する。 Anamo x1.3 / Anamo x2：アナモフィックレンズを使用したときに、ビューファインダーへの表示映像を歪みのない映像にする。（SystemメニューのBase Setting→Main Operationの設定がRAWのときのみ有効）
	Double Speed Drive On / **Off**	システム周波数が23.98、24、25、29.97のときに、ビューファインダー表示のフレームレートを倍速にする機能をON/OFFする。 （Onに設定すると、CameraメニューのShutter→Shutter Valueの設定可能範囲は、開角度180°以下に制限されます。） **ご注意** 以下の場合、Double Speed Driveは設定できません。 • システム周波数が50または59.94 • CameraメニューのS&Q Motion→SettingがOn • CameraメニューのSlow Shutter→SettingがOn • 記録フォーマット設定が、SStP SR-SQ 444/SStP SR-Lite 422/SStP SR-SQ 422 • 再生中またはサムネイル表示中
Peaking ピーキングの設定	Setting On / **Off**	ピーキング機能をON/OFFする。
	Peaking Type **Normal** / Color	ピーキングの種類を選択する。 Normal：通常のピーキング Color：カラーピーキング
	Frequency **Normal** / High	ピーキング周波数を標準にするか高くするかを選択する。
	Normal Peaking Level 0～99（**50**）	ノーマルピーキングのレベルを設定する。
	Color **B&W** / Red / Yellow / Blue	Peaking Typeの設定がColorの場合に、ピーキング信号の色を選択する。
	Color Peaking Level 0～99（**50**）	カラーピーキングのレベルを設定する。
Marker マーカー表示の設定	Setting **All** / VF / SDI/HDMI / Off	ビューファインダーのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
	Color **White** / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue	マーカーの表示色を設定する。
	Center Marker 1 / 2 / 3 / 4 / **Off**	センターマーカーを表示する場合はその種類を選択する。表示しない場合はOffを選択する。

VF

メニュー項目	細目と設定値	内容
	Safety Zone On / **Off**	セーフティーゾーンマーカーをON/OFFする。
	Safety Area 80% / **90%** / 92.5% / 95%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Marker Line / Mask / **Off**	アスペクトマーカーを選択する。 Line：白線で表示する。 Mask：マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Off：表示しない。
	Aspect Select 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / **16:9** / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1	アスペクトマーカーの比を選択する。
	Aspect Mask 0～15（**12**）	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカーの外側の映像の明るさを選択する。
	Aspect Safety Zone On / **Off**	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをON/OFFする。
	Aspect Safety Area 80% / **90%** / 92.5% / 95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	User Box On / **Off**	ボックスカーソル表示をON/OFFする。
	User Box Width 3～479（**240**）	ユーザーボックスの長方形枠の幅を設定する。
	User Box Height 3～269（**135**）	ユーザーボックスの長方形枠の高さを設定する。
	User Box H Position –476～476（**0**）	ユーザーボックスの水平方向位置を設定する。
	User Box V Position –266～266（**0**）	ユーザーボックスの垂直方向位置を設定する。
	100% Marker On / **Off**	100%マーカーをON/OFFする。
Zebra ゼブラパターンの設定	Setting On / **Off**	ゼブラ機能をON/OFFする。
	Zebra Select **1** / 2 / Both	ゼブラ表示の種類（ゼブラ1、ゼブラ2、または両方）を選択する。
	Zebra1 Level 50%～107%（**70%**）	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
	Zebra1 Aperture Level 1%～20%（**10%**）	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
	Zebra2 Level 52%～109%（**100%**）	ゼブラ2を表示するレベルを設定する

VF

メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off 画面表示項目の設定	Setting **On** / Off	ビューファインダー画面GUIの全表示をON/OFFする。
	Shutter Setting **On** / Off	ビューファインダー画面に表示する項目を選択する。 ご注意 • Video Signal Monitorは、SDI（Sub）がHD信号出力状態で、VideoメニューのOutput Setting→4K/2K to HD Conv.がLetter Boxで、VFメニューのVF Setting→AspectがAutoまたはFullのときに有効です。 • Video Signal MonitorのWaveform表示では、ビデオレベルの0%、25%、50%、75%、100%部分に目盛が入ります。 • ビューファインダーにSDI（Sub）と異なる映像信号を出力している場合は、ビューファインダーにVideo Signal Monitorは表示されません。
	ND Filter Position **On** / Off	
	Gain Setting **On** / Off	
	Rec / Play Status **On** / Off	
	Color Temp. **On** / Off	
	Frame Rate **On** / Off	
	Battery Remain **On** / Off	
	Timecode **On** / Off	
	Audio Level Meter **On** / Off	
	Media Status **On** / Off	
	Focus Position **Meter** / Feet / Off	
	Iris Position **On** / Off	
	Zoom Position **On** / Off	
	AE Mode **On** / Off	
	White Balance Mode **On** / Off	
	SDI Rec Control **On** / Off	
	Rec Format **On** / Off	
	Gamma **On** / Off	
	Timecode Lock **On** / Off	
	Wi-Fi Condition **On** / Off	

VF		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
	Video Signal Monitor **Off** / Waveform / Vector / Histogram	
	Clip Name On / **Off**	
	Focus Assist Indicator On / **Off**	
	Focus Area Marker On / **Off**	
	Clip Number **On** / Off	
	Notice Message **On** / Off	

TC/UBメニュー

TC/UB		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Timecode タイムコードの設定	Mode **Preset (Ext-Lk)** / Int Regen	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset（プリセット）：設定された状態から歩進する。 Regen（リジェネ）：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。
	Run **Rec Run** / Free Run	Rec Run：記録時のみ歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET：決定
	Reset Execute / Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 Execute：実行
	TC Format **DF** / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム
TC Display タイムデータ表示の設定	Display Select **Timecode** / Duration	タイムデータの表示を切り換える。

Recordingメニュー

Recording

メニュー項目	細目と設定値	内容
Picture Cache Rec ピクチャーキャッシュレック機能の設定	Setting On / **Off**	ピクチャーキャッシュ機能をON/OFFする。 （SystemメニューのBase Setting→Main OperationがYPbPr またはRGBのときのみ有効）
	Cache Rec Time **0-2sec** / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 13-15sec	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間（キャッシュレック開始時にさかのぼる時間）を設定する。 （System MenuのRec Format→FormatがXAVC 4096×2160 P/XAVC 3840×2160 Pのときは0-2secに固定、FormatがXAVC 2048×1080 P/XAVC 1920×1080 Pのときは8-10sec、13-15secが選択不可）
MPEG2 Proxy MPEG2 Proxy機能の設定 （PMW-F55のみ）	Setting On / **Off**	MPEG2 Proxy機能をON/OFFする。 （SystemメニューのSystem Setting→Frequencyが29.97 / 25 / 23.98で、Rec Format→FormatがXAVC 4096×2160 P/XAVC 3840×2160 Pのとき、またはFrequencyが29.97で、FormatがSStP SR-SQ 444/SStP SR-SQ 422のときのみ有効）
Rec Control 記録制御の設定	Setting SxS & AXS / **AXS**	SystemメニューのBase Setting→Main Operationの設定がRAWのとき、外部記録（AXS Memory）のみを行うか、外部記録（AXS Memory）と、本体のSxSメモリーカードへの記録を同時に行うかを設定する。 **ご注意** AXS Memoryに記録ができない場合は、SxS & AXSに設定されていても記録は実行されません。
SDI Rec Control SDI記録制御の設定	Setting **Off** / On	SDI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をON/OFFする。

Mediaメニュー

Mediaメニューは、対象となるメディアが未装着のときは無効になります。

Media		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Update Media メモリーの更新	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute：実行
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute：実行
	AXS Memory Execute / Cancel	AXSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute：実行
Format Media メモリーの初期化	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	SD Card Execute / Cancel	SDカードを初期化する。 Execute：実行
	AXS Memory Execute / Cancel	AXSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
Clip Naming クリップ名に関する設定	Mode **Cam ID + Reel#** / Title	クリップ名の生成モードを決める Cam ID + Reel#：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列 Title：Title Prefixで設定した任意文字列 + クリップ番号
	Camera ID **A**～Z	ModeがCam ID + Reel#のとき、カメラIDを設定する。
	Reel Number **001**～999	ModeがCam ID + Reel#のとき、Reel Numberの数字部分を設定する。
	Camera Position **C** / L / R	ModeがCam ID + Reel#のとき、Shot Numberの先頭文字部分を設定する。
	Title Prefix	ModeがTitleのとき、クリップ名のタイトル部分を設定する。 （初期値は「機種固有ID_」。機種固有ID：シリアルNo.の下3桁） （設定は文字列入力画面（57ページ）で行います。）
	Number Set **0001**～9999	ModeがTitleのとき、クリップ名の番号部分を設定する。

Fileメニュー

File

メニュー項目	細目と設定値	内容
All File Allファイルに関する設定	Load SD Card	SDカードスロットに挿入されたSD CardからAllファイルを呼び出す。
	Save SD Card	SDカードスロットに挿入されたSD CardへAllファイルを保存する。
	File ID	Allファイルに名前を付ける。
Scene File Sceneファイルに関する設定（SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）	Recall Internal Memory	内蔵メモリーからSceneファイルを呼び出す。
	Store Internal Memory	内蔵メモリーにSceneファイルを保存する。
	Load SD Card	サブメモリーカードからファイルを呼び出す。
	Save SD Card	サブメモリーカードにファイルを保存する。
	File ID	Sceneファイルに名前を付ける。
User Menu Item User Menu Itemファイルに関する設定	Load SD Card	SDカードスロットに挿入されたSD CardからUser Menu Itemファイルを呼び出す。
	Save SD Card	SDカードスロットに挿入されたSD CardへUser Menu Itemファイルを保存する。
	File ID	User Menu Itemファイルに名前を付ける。
User Gamma ユーザーガンマファイルに関する設定	Current Settings	内蔵メモリー上の、現在のユーザーガンマファイル名を表示する。
	Load SD Card	SDカード内のユーザー作成によるガンマテーブルデータ（ユーザーガンマファイル）を内蔵メモリーに読み込む。 CvpFileEditorTM V4.2で作成されたユーザーガンマファイルを本機で使用する際には、SDカードの以下の階層に保存してください。 PRIVATE¥SONY¥PRO¥CAMERA¥HD_CAM
	Reset 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / All 初期値 1：709(800%) 2：S-Log2 3：709(800%) 4：709(800%) 5：709(800%)	内蔵メモリー上のユーザーガンマファイルを初期値に戻す。 1～5：個別 All：全部

File

メニュー項目	細目と設定値	内容
Monitor LUT モニター LUTファイルに関する設定	Current Settings	内部メモリー上に登録されている6種類のユーザーLUT名が表示される。
	Load SD Card 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6	SDカード内のユーザー作成によるLUTデータ（ユーザー LUTファイル）を内蔵メモリーに読み込む。 RAW Viewerで生成されたユーザー LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存されます。 PRIVATE¥SONY¥PRO¥CAMERA¥PMWF55_F5
	Reset 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / All	内蔵メモリー上のユーザー LUTデータを初期値の709(800%)に戻す。 1～6：個別 All：全部
Monitor 3D LUT モニター 3D LUTファイルに関する設定	Current Settings	内部メモリー上の、現在のユーザーモニター 3D LUT名が表示される。
	Load SD Card 1 / 2 / 3 / 4	SDカード内のユーザー作成による3D LUTデータ（ユーザー 3D LUTファイル）を内蔵メモリーに読み込む。 本機では、RAW ViewerやBMD製Da Vinci Resolve*で生成される17格子または33格子のCUBEファイル（*.cube）をインポートすることができます。 * Resolve V9.0およびV10.0にて確認 CUBEファイルを生成する際には、InputをS-Gamut3.Cine/S-Log3、FormatをResolveとしてください。（RAW Viewerにて生成する場合） 生成された3D LUTデータ（ユーザー 3D LUTファイル）は、SDカードの以下の階層に保存してください。 PRIVATE¥SONY¥PRO¥CAMERA¥PMWF55_F5
	Reset 1 / 2 / 3 / 4 / All	内蔵メモリー上のユーザー 3D LUTデータを初期値のLC-709に戻す。 1～4：個別 All：全部
Lens File レンズファイルに関する設定（SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときのみ有効）	Recall Internal Memory	内蔵メモリーからレンズファイルを呼び出す。
	Store Internal Memory	内蔵メモリーにレンズファイルを保存する。
	Load SD Card	サブメモリーカードからレンズファイルを呼び出す。
	Save SD Card	サブメモリーカードにレンズファイルを保存する。
	File ID	レンズファイル名を設定する。
	File Source	選択しているファイルの番号を表示する。
	Clear Lens Offset Execute / Cancel	レンズファイルの内容をクリアする。 Execute：実行
	Lens Auto Recall **Off** / On(Lens Name) / On(Serial Number)	レンズ通信でレンズが特定できた場合、該当するレンズファイルを自動的に呼び出すかどうかを設定する。 **ご注意** Lens Auto Recallは、電源On時のみにか対応しません。（レンズの活電挿抜時には機能しません。）
	Lens Serial Number	レンズ通信対応のレンズが装着されている場合、そのレンズのシリアルナンバーが表示される。

File		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
	Lens Name	レンズ通信でレンズの機種名が取得できる場合、そのレンズの機種名が表示される。
	Lens Manufacturer	レンズ通信でレンズのメーカー名が取得できる場合、そのレンズのメーカー名が表示される。
	Lens Center H –40～+40（**±0**）	レンズファイルにセンターマーカーの水平位置を設定する。
	Lens Center V –40～+40（**±0**）	レンズファイルにセンターマーカーの垂直位置を設定する。
	Flare R –99～+99（**±0**）	レンズファイルにレンズに起因するフレア補正のRフレアのユーザー調整値を設定する。
	Flare G –99～+99（**±0**）	レンズファイルにレンズに起因するフレア補正のGフレアのユーザー調整値を設定する。
	Flare B –99～+99（**±0**）	レンズファイルにレンズに起因するフレア補正のBフレアのユーザー調整値を設定する。
	White Offset R –99～+99（**±0**）	レンズファイルにレンズによるホワイトバランスオフセットのRch補正値を設定する。
	White Offset B –99～+99（**±0**）	レンズファイルにレンズによるホワイトバランスオフセットのBch補正値を設定する。
	Shading Ch Select **Red** / Green / Blue	レンズに起因するホワイトシェーディング補正の対象のチャンネルを選択する。
	Shading H SAW –99～+99（**±0**）	レンズファイルにShading Ch Selectで選択したチャンネルの水平方向の、レンズに起因するSawホワイトシェーディング補正値を設定する。
	Shading H PARA –99～+99（**±0**）	レンズファイルにShading Ch Selectで選択したチャンネルの水平方向の、レンズに起因するParaホワイトシェーディング補正値を設定する。
	Shading V SAW –99～+99（**±0**）	レンズファイルにShading Ch Selectで選択したチャンネルの垂直方向の、レンズに起因するSawホワイトシェーディング補正値を設定する。
	Shading V PARA –99～+99（**±0**）	レンズファイルにShading Ch Selectで選択したチャンネルの垂直方向の、レンズに起因するParaホワイトシェーディング補正値を設定する。

Maintenanceメニュー

Maintenance		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
APR APRの実行	APR Execute / Cancel	APR（Auto Pixel Restoration：イメージセンサーの自動調整）を実行する。 Execute：実行
Test Saw テスト信号出力の設定	Setting On / **Off**	テスト信号をON/OFFする。

Maintenance		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Camera Config カメラの詳細設定	RM Common Memory On / **Off**	リモートコントロールユニット接続時と単体使用時の設定を共有するかどうかを設定する。 **ご注意** リモートコントローラー接続時は選択できません。
	HD/2K Modulation **High** / Low	4K/QFHD信号からダウンコンバートしたHD/2K信号の映像解像度を設定する。 High：ディテールを重視した高解像度出力 Low：従来のHD Camera（F35/PMW-F3等）相当の解像度 **ご注意** Imager Scam ModeがNormalで通常撮影を行っているときのHD/2K記録信号やHD/2K出力信号、またはXAVC 4096×2160/XAVC 3840×2160のクリップやAXSメモリーを再生しているときのHD/2K出力信号が対象となります。（ビューファインダー出力も対象）

Systemメニュー

System		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
System Setting システム設定	Frequency 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 24 / **23.98**	システム周波数を選択する。
Base Setting 基本設定	Shooting Mode **Custom** / Cine EI	撮影モードを設定する。
	Main Operation **YPbPr** / RGB / RAW	メインに記録する運用形態を設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときはYPbPr/RGBのみ）
	Color Space S-Gamut/SLog2 / S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / **Matrix**	色域を設定する。 （SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCustomのときはMatrixのみ、Cine EIのときはS-Gamut/SLog2、S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3から選択）
	Imager Scan Mode **Normal** / 2K Full / 2K Center	イメージャーの読み出しモードを設定する。 Normal：通常撮影時は4K Super 35mmサイズで撮像する。60Pより早いFrame Rateでは2Kサイズで撮像する。 2K Full：常時2K Super 35mmサイズで撮像する。 2K Center：常時Super 35mmの中央部分の2K Super 16mm相当サイズで撮像する。

System

メニュー項目	細目と設定値	内容
Rec Format 記録フォーマットの設定	Format XAVC 4096 x 2160 P（PMW-F55のみ） XAVC 3840 x 2160 P（PMW-F55のみ） XAVC 2048 x 1080 P XAVC 1920 x 1080 P MPEG 1920 x 1080 i MPEG 1280 x 720 P SStP SR-SQ 444 SStP SR-SQ 422 SStP SR-Lite 422	SxSメモリーカードに記録するビデオフォーマットを設定する。 記録フォーマットは、SystemメニューのSystem Setting→FrequencyおよびBase Setting→Main Operationの設定で設定可能なフォーマットが異なる。
Genlock ゲンロックの設定	Reference **Internal** / External(HD) / External(SD)	ゲンロックの状態を表示する。ゲンロックがかかっている場合は信号の種別を表示する。 Internal：かかっていない。 External(HD)：HD信号でかかっている。 External(SD)：SD信号でかかっている。

システム周波数の設定が59.94、50のとき

記録フォーマット	Main Operation		
	YPbPr	RGB	RAW*
XAVC 4096×2160P	○	–	–
XAVC 3840×2160P	○	–	–
XAVC 2048×1080P	○	○	○
XAVC 1920×1080P	○	○	○
MPEG 1920×1080i	○	○	○
MPEG 1280×720P	○	–	–

システム周波数の設定が29.97、25、23.98のとき

記録フォーマット	Main Operation		
	YPbPr	RGB	RAW*
XAVC 4096×2160P	○	–	–
XAVC 3840×2160P	○	–	–
XAVC 2048×1080P	○	○	○
XAVC 1920×1080P	○	○	○
MPEG 1920×1080P	○	○	○
SStP SR-SQ 444	–	○	–
SStP SR-SQ 422	○	–	–
SStP SR-Lite 422	○	–	–

システム周波数の設定が24 のとき

記録フォーマット	Main Operation		
	YPbPr	RGB	RAW*
XAVC 4096×2160P	○	–	–
XAVC 2048×1080P	○	○	○
SStP SR-SQ 444	–	○	–
SStP SR-SQ 422	○	–	–
SStP SR-Lite 422	○	–	–

* RecordingメニューのRec ControlがSxS&AXSに設定されていること。

System		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Assignable Button アサイナブルボタンへの機能割り当て設定	<1>～<4>、Lens RET **Off** / Marker / Zebra / Peaking / Display / Video Signal Monitor / VF Mode / Rec / S&Q Motion / Picture Cache Rec / Rec Review / High/Low Key / VF High Contrast	ASSIGN 1/2/3/4ボタンおよびレンズのRETボタンに機能を割り当てる。 Marker：センターマーカー、セーフティーゾーン、アスペクトマーカー、ガイドフレーム機能をまとめてON/OFF切り換え Zebra：ゼブラ機能のON/OFF切り換え Peaking：ピーキング機能のON/OFF切り換え Display：モニター画面への状態/設定表示のON/OFF切り換え Video Signal Monitor：SDI（Sub）に出力されている信号の波形表示（Off/Waveform/Vector/Histogram）の切り換え VF Mode：ビューファインダー画面のカラー /モノクロ切り換え Rec：記録開始/記録停止の実行（記録中はランプが点灯します。） S&Q Motion：スロー＆クイックモーションのON/OFF切り換え Picture Cache Rec：ピクチャーキャッシュレック機能のON/OFF切り換え Rec Review：レックレビューの実行 High/Low Key：High Key（高輝度の白飛び確認画面）/Low Key（低輝度の黒つぶれ確認画面）/Off（通常画面）の切り換え VF High Contrast：ビューファインダー映像のコントラスト強調の実行
Switch / Lamp スイッチ/ランプの設定	Rec Lamp **On** / Off	Rec LampをON/OFFする。
	Lock Switch Setting **without Rec Button** / with Rec Button	キー操作無効スイッチにRecボタンを含めるかを設定する。 （アサイナブルボタンにRec機能を割り当てている場合は、そのボタンもRecボタンとして扱われます。）
	Menu Dial Scroll **Normal** / Loop	メニューのスクロール方法を選択する。
	Menu Dial Direction **Normal** / Reverse	メニューのスクロール方向を選択する。
	Set Key on Thumbnail **Pause** / Play	ひとつのサムネイルを選択した状態でMENUダイヤルを押したときの動作を設定する。
Fan Control ファン制御モードの設定	Setting **Auto** / Minimum / Off in Rec	本機と本機に接続したAXSレコーダーのファン制御モードを設定する。

System		
メニュー項目	**細目と設定値**	**内容**
Battery Alarm バッテリーに関する設定	Near End:Info Battery **5%**～100%（5%刻み）	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する。
	End:Info Battery **0%**～5%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	Near End:Sony Battery **11.5V**～17V（0.1V刻み）	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する。
	End:Sony Battery **11.0V**～11.5V（0.1V刻み）	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	Near End:Other Battery 11.5V～17V（**11.8V**）（0.1V刻み）	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する。
	End:Other Battery **11.0V**～14V（0.1V刻み）	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	Detected Battery Sony Info Battery / Sony Battery / Other Battery / DC IN	電源の種類を表示する。
DC Voltage Alarm 入力電圧の警告の設定	DC Low Voltage1 **11.5V**～17.0V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
	DC Low Voltage 2 **11.0V**～14.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
Language メニューとメッセージ表示言語の設定	Select **English** / 中文（簡）	メニューとメッセージ表示言語を切り換える。
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Time Zone UTC –12:00 Kwajalein～ UTC +14:00	UTCからの時差を30分単位で設定する。
	Date Mode **YYMMDD** / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
	12H/24H 12H / **24H**	時刻の表示形式を選択する。 12H：12時間表示 24H：24時間表示
	Date	現在の日付を設定する。 SET：決定
	Time	現在の時刻を設定する。 SET：決定
Hours Meter 積算時間の表示	Hours(System)	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
	Hours(Reset)	積算使用時間（リセット可）を表示する。
	Reset Execute / Cancel	Hours（Reset）表示を0にリセットする。 Execute：実行

System

メニュー項目	細目と設定値	内容
AXS Recorder AXSレコーダーに関する設定 **ご注意** AXSレコーダー（AXS-R5）が未装着のときは選択できません。	Chunk **Off** / 16GB / 8GB / 4GB	AXSメモリーカードに記録するクリップを、指定した大きさに分割しながら記録するための設定。
	Version	AXS-R5のソフトウエアバージョンを表示する。
	Hours Meter (System)	AXS-R5の積算使用時間（リセット不可）を表示する。
	Hours Meter (Reset)	AXS-R5の積算使用時間（リセット可）を表示する。
	Reset Hours Meter Execute / Cancel	Hours Meter（Reset）表示を0にリセットする。 Execute：実行
Basic Authentication ネットワークの基本認証に関する設定	User Name (**admin**)	任意のユーザー名を設定する（英数字で1～31文字）。
	Password (**pmw-f5**または**pmw-f55**)	パスワードを設定する（英数字で1～31文字）。
Wi-Fi Wi-Fi接続に関する設定と表示	Wi-Fi Enable / **Disable**	Wi-Fi接続を有効にするか、無効にするかを選択する。
	SSID & Password	SSIDとパスワードを表示する。
	Wi-Fi Direct Connection Execute / Cancel	Wi-Fi Directによる接続処理を開始する。 Execute：実行
	Client	繋がっているクライアント機器の情報（機器名またはMacアドレス）を表示する。
	IP Address 10.0.0.1	本機のIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask 255.255.0.0	Subnet Maskを表示する。
	MAC Address	本機に搭載されているWi-FiモジュールのMacアドレスを表示する。
	Regenerate Password Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute：実行
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Reset Execute / Cancel	工場出荷状態へのリセットを実行する。 Execute：実行
Version 本機のバージョンの表示	Number Vx.xx	本機のソフトウエアバージョンを表示する。
	Version Up Execute / Cancel	本機をバージョンアップする。 Execute：実行

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。
VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。
外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VideoメニューのOutput Display（74ページ）をOnに設定してください。

SDI OUT端子（BNC型）

Videoメニュー（72ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。
接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

ご注意

本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。
（75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。）
やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、RecordingメニューのSDI Rec Control（79ページ）をOnに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

HDMI OUT端子（Type Aコネクター）

Videoメニュー（72ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。
接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用します。

TEST OUT端子（BNC型）

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

DC OUT端子（4ピン）

電源スイッチがONの場合に、アクセサリーにDC 12Vの電源を供給します。また、DC OUT端子を経由してREC Tally信号の出力、REC Trigger信号の入力をすることが可能です。

4-pin, Female

- External View -

No.	信号	I/O	仕様
1	UNREG GND	—	GND for UNREG
2	REC TALLY	OUT	Open Collector output (Max. 50 mA) Low: REC
3	REC TRIGGER	IN	Open or +5 V dc: Normal GND: Active (REC)
4	UNREG +12 V OUT	OUT	+11 V to 17 V dc output

コンピューターでクリップを管理・編集する

コンピューターのExpressCardスロットを使う

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合は、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

ご注意

- SxSデバイスドライバーソフトウェアのインストールが必要です。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

◆SxSデバイスドライバーソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

http://www.sony.net/SxS-Support/

Windowsコンピューターでは、マイコンピュータにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されていれば正常に動作しています。
Macintoshコンピューターでは、メニューバーにアイコンが表示されます。

USBケーブルを使って接続する

本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー /ライター SBAC-US20（別売り）をUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。
本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意

本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。専用の電源を用意してください。

本機への接続の確認

1 本機の電源スイッチをONにする。

ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 MENUダイヤルを回してExecuteを選ぶ。

3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- ACCESSランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
  —電源を切る。電源コードを抜く。
  —SxSメモリーカードを抜く。
  —USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、SxSメモリーカードを取りはずすときは、メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売り）が必要です。
専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

本機のGENLOCK IN端子（15ページ）に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。
入力できる基準信号は、設定されているシステム周波数によって異なります。

システム周波数	入力可能な基準信号
59.94P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
59.94i	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
50P	1920×1080 50i 720×576 50i
50i	1920×1080 50i 720×576 50i
29.97P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
25P	1920×1080 50i 720×576 50i
24P	1920×1080 48i (24PsF)
23.98P	1920×1080 47.95i (23.98PsF)

ゲンロックの状態は、Systemメニューの Genlock（85ページ）の、Referenceで確認できます。

ご注意

- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free Run）に設定してください。

1 TC/UBメニューのTimecodeを次のように設定する。
Mode：Preset (Ext-Lk)
Run：Free Run

2 TC IN/OUTスイッチ（15ページ）がIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN端子（15ページ）とTC端子（15ページ）に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「Ext-Lk」と表示されます。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続をはずした場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

TC/UBメニューのTimecodeの設定を変更してください。
特殊記録モードでの記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、付属の「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。
次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。
  真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨があたる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。
本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

画面について

- 画面を太陽にむけたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- マスターゲイン（感度）を上げたとき
- スローシャッターモードのとき

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フォーカルプレーン（PMW-F5 のみ）

撮像素子（CMOSセンサー）の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

フラッシュバンド（PMW-F5 のみ）

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変化することがあります。

フリッカー（PMW-F5 のみ）

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、ビューファインダーの映像が乱れることがあります。
  —フォーマットを切り換えたとき
  —サムネイル画面から再生を開始したとき
- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイル が断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくな る場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、Mediaメニューの Format Media（80ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

出力のフォーマットと制限

ビデオフォーマットと出力信号

メモ

1.3倍または2 倍のアナモフィックレンズを使用する場合、VFメニューのVF Setting（74ページ）の、AspectをAnamo x1.3またはAnamo x2に設定すると、SDI OUT（Sub）、HDMI OUT、TEST OUTへ歪みのない正常な画像を出力できます。

SDI OUT端子の出力フォーマット

SDI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューの設定や再生するクリップのフォーマットに応じて出力されます。

Base Setting の Main Operation が YPbPr で、SDI OUT 1 ～ 4 端子を使って 1 系統の SDI 出力をする場合（PMW-F55 のみ）

Systemメニュー System SettingのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのFormat	出力フォーマット SDI（Main）
59.94/50	XAVC 4096×2160 P	4096×2160 YPbPr Square Division 59.94P/50P 3.0G
		4096×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 59.94P/50P 3.0G
		3840×2160 YPbPr Square Division 59.94P/50P 3.0G
		3840×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 59.94P/50P 3.0G
	XAVC 3840×2160 P	3840×2160 YPbPr Square Division 59.94P/50P 3.0G
		3840×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 59.94P/50P 3.0G
29.97/25/23.98	XAVC 4096×2160 P	4096×2160 YPbPr Square Division 29.97P/25P/23.98P 1.5G
		4096×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 29.97P/25P/23.98P 3.0G（SDI 1/2のみ）
		3840×2160 YPbPr Square Division 29.97P/25P/23.98P 1.5G
		3840×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 29.97P/25P/23.98P 3.0G（SDI 1/2のみ）
	XAVC 3840×2160 P	3840×2160 YPbPr Square Division 29.97P/25P/23.98P 1.5G
		3840×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 29.97P/25P/23.98P 3.0G（SDI 1/2のみ）
24	XAVC 4096×2160 P	4096×2160 YPbPr Square Division 24P 1.5G
		4096×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 24P 3.0G（SDI 1/2のみ）
		3840×2160 YPbPr Square Division 24P 1.5G
		3840×2160 YPbPr 2-Sample Interleave Division 24P 3.0G（SDI 1/2のみ）

Base Setting の Main Operation が YPbPr で、SDI OUT 1/2（MAIN）端子と SDI OUT 3/4（SUB）端子を使って 2 系統の SDI 出力をする場合

Systemメニュー System Settingの Frequency	Systemメニュー Rec FormatのFormat	出力フォーマット	
		SDI（Main）	SDI（Sub）
59.94/50	XAVC 4096×2160 P（PMW-F55のみ）	2048×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
		1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
		1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G	1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
	XAVC 3840×2160 P（PMW-F55のみ）	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
		1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G	1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
	XAVC 2048×1080 P	2048×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
			720×486/576 YPbPr 59.94i/50i 270M*
		1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
			720×486/576 YPbPr 59.94i/50i 270M*
		1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G	1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
			720×486/576 YPbPr 59.94i/50i 270M*
	XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
			720×486/576 YPbPr 59.94i/50i 270M*
		1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G	1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
			720×486/576 YPbPr 59.94i/50i 270M*
	MPEG 1280×720 P	1280×720 YPbPr 59.94P/50P 1.5G	1280×720 YPbPr 59.94P/50P 1.5G
			720×486/576 YPbPr 59.94i/50i 270M*

付録

Systemメニュー System SettingのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのFormat	出力フォーマット	
		SDI（Main）	SDI（Sub）
29.97/25	XAVC 4096×2160 P（PMW-F55のみ）	2048×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
		1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G	
	XAVC 3840×2160 P（PMW-F55のみ）	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
	XAVC 2048×1080 P	2048×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
			720×486/576 YPbPr 29.97PsF/25PsF 270M
		1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
			720×486/576 YPbPr 29.97PsF/25PsF 270M
	XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i SStP SR-SQ/Lite 422	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
			720×486/576 YPbPr 29.97PsF/25PsF 270M
24	XAVC 4096×2160 P（PMW-F55のみ） XAVC 2048×1080 P	2048×1080 YPbPr 24PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 24PsF 1.5G
		1920×1080 YPbPr 24PsF 1.5G	
	SStP SR-SQ/Lite 422	1920×1080 YPbPr 24PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 24PsF 1.5G
23.98	XAVC 4096×2160 P（PMW-F55のみ） XAVC 2048×1080 P	2048×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G
		1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G	
	XAVC 3840×2160 P（PMW-F55のみ）	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G
	XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i SStP SR-SQ/Lite 422	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G

* SystemメニューのBase Setting→Shooting ModeがCine EIのときは選択できません。

Base Setting の Main Operation が RGB で、SDI OUT 1/2（MAIN）端子と SDI OUT 3/4（SUB）端子を使って 2 系統の SDI 出力をする場合

Systemメニュー System SettingのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのFormat	出力フォーマット	
		SDI（Main）	SDI（Sub）
59.94/50	XAVC 2048×1080 P	2048×1080 RGB 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
		1920×1080 RGB 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G
	XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i	1920×1080 RGB 59.94P/50P 3.0G	1920×1080 YPbPr 59.94P/50P 3.0G
			1920×1080 YPbPr 59.94i/50i 1.5G

Systemメニュー System SettingのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのFormat	出力フォーマット	
		SDI（Main）	SDI（Sub）
29.97/25	XAVC 2048×1080 P	2048×1080 RGB 29.97PsF/25PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
		1920×1080 RGB 29.97PsF/25PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
	XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i SStP SR-SQ444	1920×1080 RGB 29.97PsF/25PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 29.97PsF/25PsF 1.5G
24	XAVC 2048×1080 P	2048×1080 RGB 24PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 24PsF 1.5G
		1920×1080 RGB 24PsF 3.0G	
	SStP SR-SQ444	1920×1080 RGB 24PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 24PsF 1.5G
23.98	XAVC 2048×1080 P	2048×1080 RGB 23.98PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G
		1920×1080 RGB 23.98PsF 3.0G	
	XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i SStP SR-SQ 444	1920×1080 RGB 23.98PsF 3.0G	1920×1080 YPbPr 23.98PsF 1.5G

HDMI OUT端子の出力フォーマット

HDMI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューや再生するクリップのフォーマットに応じて出力されます。

SDI（MAIN）の出力フォーマットが 4096 × 2160 P または 3840 × 2160 P の場合（PMW-F55 のみ）

Systemメニュー System SettingのFrequency	Videoメニュー Output FormatのSDI（Main）	出力フォーマット
59.94/50	4096×2160 P Square 3840×2160 P Square	1920×1080 59.94P/50P
		1920×1080 59.94i/50i
	4096×2160 P 2SI	4096×2160 59.94P/50P
		1920×1080 59.94P/50P
		1920×1080 59.94i/50i
	3840×2160 P 2SI	3840×2160 59.94P/50P
		1920×1080 59.94P/50P
		1920×1080 59.94i/50i
29.97/25	4096×2160 P Square 3840×2160 P Square	1920×1080 29.97PsF/25PsF
	4096×2160 P 2SI	4096×2160 29.97P/25P
		1920×1080 29.97PsF/25PsF
	3840×2160 P 2SI	3840×2160 29.97P/25P
		1920×1080 29.97PsF/25PsF

Systemメニュー System SettingのFrequency	Videoメニュー Output FormatのSDI (Main)	出力フォーマット
24/23.98	4096×2160 P Square 3840×2160 P Square	1920×1080 24P/23.98P
	4096×2160 P 2SI	4096×2160 24P/23.98P
		1920×1080 24P/23.98P
	3840×2160 P 2SI	3840×2160 24P/23.98P
		1920×1080 24P/23.98P

SDI（MAIN）の出力フォーマットが 2048 × 1080 以下の場合

Systemメニュー System SettingのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのFormat	出力フォーマット
59.94/50	XAVC 4096×2160 P (PMW-F55のみ) XAVC 3840×2160 P (PMW-F55のみ)	1920×1080 59.94P/50P
		1920×1080 59.94i/50i
	XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 i	1920×1080 59.94P/50P
		1920×1080 59.94i/50i
		720×480/576 59.94P/50P
	MPEG 1280×720 P	1280×720 59.94P/50P
		720×480/576 59.94P/50P
29.97/25	XAVC 4096×2160 P (PMW-F55のみ) XAVC 3840×2160 P (PMW-F55のみ) XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 P SStP SR-SQ 422 SStP SR-Lite 422 SStP SR-SQ 444	1920×1080 29.97PsF/25PsF
24	XAVC 4096×2160 P (PMW-F55のみ) XAVC 2048×1080 P SStP SR-SQ 422 SStP SR-Lite 422 SStP SR-SQ 444	1920×1080 24P
23.98	XAVC 4096×2160 P (PMW-F55のみ) XAVC 3840×2160 P (PMW-F55のみ) XAVC 2048×1080 P XAVC 1920×1080 P MPEG 1920×1080 P SStP SR-SQ 422 SStP SR-Lite 422 SStP SR-SQ 444	1920×1080 23.98P

TEST OUT端子の出力フォーマット

TEST OUT端子からは、SDI OUT端子またはHDMI OUT端子から出力されている信号と同じフォーマットのHD-Y信号、Composite信号またはHD SYNC信号が出力されます。
出力する信号はセットアップメニューやSDI（Main）/SDI（Sub）の出力フォーマット設定によります。

Systemメニュー System Settingの Frequency	SDI（Main）の出力フォーマット	SDI（Sub）の出力フォーマット	出力フォーマット
59.94/50	4096×2160 59.94P/50P（PMW-F55のみ） 3840×2160 59.94P/50P（PMW-F55のみ）	×	HD SYNC 1920×1080 59.94i/50i
	2048×1080 59.94P/50P 1920×1080 59.94P/50P 1920×1080 59.94i/50i	1920×1080 59.94P/50P	HD SYNC 1920×1080 59.94i/50i
		1920×1080 59.94i/50i	HD Y 1920×1080 59.94i/50i
		720×486/576 59.94i/50i	Composite 720×486/576 59.94i/50i
29.97/25	4096×2160 29.97P/25P（PMW-F55のみ） 3840×2160 29.97P/25P（PMW-F55のみ）	×	HD SYNC 1920×1080 29.97PsF/25PsF
	2048×1080 29.97PsF/25PsF 1920×1080 29.97PsF/25PsF	1920×1080 29.97PsF/25PsF	HD Y 1920×1080 29.97PsF/25PsF
		720×486/576 29.97PsF/25PsF	Composite 720×486/576 29.97PsF/25PsF
24	4096×2160 24P（PMW-F55のみ）	×	HD SYNC 1920×1080 24PsF
	2048×1080 24PsF 1920×1080 24PsF	1920×1080 24PsF	HD Y 1920×1080 24PsF
23.98	4096×2160 23.98P（PMW-F55のみ） 3840×2160 23.98P（PMW-F55のみ）	×	HD SYNC 1920×1080 23.98PsF
	2048×1080 23.98PsF 1920×1080 23.98PsF	1920×1080 23.98PsF	HD Y 1920×1080 23.98PsF

エラー /警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、RECランプの点滅、および警告音で対応します。
警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。
本機の電源起動時に、一定期間イメージセンサーの自動調整（APR）を実行していない場合は、APR の実行を促すメッセージがビューファインダーに表示されます。この場合は、表示される指示に従って、APR（83ページ）を実行してください。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

LCD/ビューファインダー警告表示	警告音	RECランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 （電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源もはずしてください。）

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

LCD/ビューファインダー警告表示	警告音	REC ランプ	原因と対策
Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。供給電源を確認してください。

LCD/ビューファインダー 警告表示	警告音	REC ランプ	原因と対策
Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。 他の電源に接続しなおしてください。
EXT. I/F Signal Error	–	–	拡張ユニット取り付け端子内の信号にエラーを検出しました。 AXS-R5等との接続状態を確認してください。

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
Unknown Media(A)[1)] Please Change	パーテーションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media(A)[1)] Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error Media(A)[1)] Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media(A)[1)]	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
Media Error Cannot Use Media(A)[1)]	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
Media(A)[1)] Error Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media (A)[1)]	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆ 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
Copy All MPEG2 Proxy NG: Reached Clip Number Limit NG: Same File Already Exists NG: Not Enough Capacity	MPEG2 Proxyの全コピーが、表示されている理由で完了しませんでした。 • 最大クリップ数になった • 同名のファイルが存在する • メディアの残量が足りない メディアを交換してください。
Input AES/EBU is Invalid Emphasis	AES/EBU入力に対応していないEmphasis信号が入力されました。 本機は50u-15u Emphasisにのみ対応しています。
Input AES/EBU is not Pro Use	AES/EBU入力に、Professional Use以外の信号が入力されました。 本機はProfessional Useにのみ対応しています。

表示内容	原因と対策
Fan Stopped	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
AXS Recorder Fan Stopped	本機に接続されたAXS-R5内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、AXS-R5を本機から取りはずしてソニーのサービス担当者に連絡してください。
Abnormal Lens Communication Please Check “Lens IF” Setting	接続されたレンズの種類が本機の設定と合っていません。 CameraメニューのLens Interfaceの設定を確認してください。
Please Execute APR	一定期間イメージセンサーの自動調整（APR）を実行していません。 Menuダイヤルを押して、APRを実行してください。
Invalid setting value was reset: Media/Clip Naming/Camera Position Please save All File again	不正なAllファイルが呼び出されたため、Clip Namingの設定値をリセットしました。 希望の設定値に合わせて、再度Allファイルの保存を実行してください。

*1)*スロットBに入れたカードの場合は(B)、AXSメモリーカードの場合はAXS Memory

ライセンスについて

MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C., （住所250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。
詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。
MPEG LA.L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ：http://www.mpegla.com

MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

（i）消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEOといいます）にエンコードすること。
（ii）MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページ（HTTP://WWW.MPEGLA.COM）をご参照下さい。

MPEG LAは、（i）MPEG-4 Visualビデオ情報を記録した媒体（PACKAGED MEDIA）を製造し、販売する行為、（ii）MPEG-4 Visualビデオ情報を何らかの方法（オンラインビデオ配信サービス、インターネット放送、TV放送など）で配信・放送する行為について、ライセンスを提供しています。
その他の使用方法につきましても、MPEG LAからのライセンス取得が必要な場合があります。詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。MPEG LA. L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ：http://www.mpegla.com

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。
http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダー内の「License1.pdf」をご覧ください。

PDFファイルをご覧いただくためには、Adobe Readerがコンピューターにインストールされている必要があります。

Adobe Readerがインストールされていない場合は、下記URLにアクセスしてダウンロードすることができます。
http://get.adobe.com/jp/reader/

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。
当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダー内の「License1.pdf」をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

電源

DC 12 V（11 V～17.0 V）

消費電力

PMW-F55

約25 W

本体のみ、XAVC 4K 59.94P記録時、4K SDI：On

PMW-F5

約24 W

本体のみ、XAVC HD 59.94P記録時、HD-SDI：On

ご注意

- DC OUT端子には、消費電流が1.8 A以下の機器を接続してください。
- 周辺機器を装着して使用する場合は、周辺機器の消費電力の合計が60 W以内になるようにしてください。

動作温度

0℃～40℃

保存温度

-20℃～+60℃

質量

約2.2 kg（本体のみ）

外形寸法

110ページ参照

連続動作時間

PMW-F55

約150分

（バッテリーパックBP-FL75使用時）

PMW-F5

約160分

（バッテリーパックBP-FL75使用時）

記録フォーマット（ビデオ）

XAVC

AVC/H.264 High 4:2:2 Intra Profile

4K/QFHD：VBR、600 Mbps max.

2K：VBR、220 Mbps max.

HD：SMPTE RP2027 Class100 準拠

MPEG HD422

MPEG-2 Long GOP

HD 422モード：CBR、50 Mbps、MPEG-2 422P@HL

SR SStP

MPEG-4 Simple Studio Profile

HD：SR-SQ 444、SR-SQ 422、SR-Lite 422

記録フォーマット（オーディオ）

LPCM 8CH（記録再生2CH）、24-bit、48-kHz

記録フレームレート

PMW-F55

XAVC 4K：4096×2160、23.98P/24P/25P/29.97P/50P/59.94P

XAVC QFHD：3840×2160、23.98P/25P/29.97P/50P/59.94P

XAVC 2K：2048×1080、23.98P/24P/25P/29.97P/50P/59.94P

XAVC HD：1920×1080、23.98P/25P/29.97P/50P/59.94P

MPEG2 HD：1920×1080、50i/59.94i/23.98P/25P/29.97P

MPEG2 HD：1280×720、50P/59.94P

SR-SStP：1920×1080、23.98P/24P/25P/29.97P

PMW-F5

XAVC 2K：2048×1080、23.98P/24P/25P/29.97P/50P/59.94P

XAVC HD：1920×1080、23.98P/25P/29.97P/50P/59.94P

MPEG2 HD：1920×1080、50i/59.94i/23.98P/25P/29.97P

SR-SStP：1920×1080、23.98P/24P/25P/29.97P

記録・再生時間

SBS-32G1A使用時

MPEG2 HD：約60分

SBS-64G1A使用時

MPEG2 HD：約120分

SBP-32使用時

XAVC HD 23.98P：約36分

XAVC HD 25P：約35分

XAVC HD 29.97P：約30分

SR-Lite 422 23.98P：約18分

SR-Lite 422 25P：約17分

SR-Lite 422 29.97P：約14分

SBP-64A使用時

XAVC HD 23.98P：約72分

XAVC HD 25P：約70分

XAVC HD 29.97P：約60分

SR-Lite 422 23.98P：約38分

SR-Lite 422 25P：約36分

SR-Lite 422 29.97P：約30分

SBP-64B使用時

XAVC 4K 25P：約24分

XAVC 4K 29.97P：約20分

SR-SQ 422/444 23.98P：約18分

SR-SQ 422/444 25P：約17分

SR-SQ 422/444 29.97P：約14分

SBP-128B使用時

XAVC 4K 23.98P：約52分

XAVC 4K 25P：約50分

XAVC 4K 29.97P：約40分

SR-SQ 422/444 23.98P：約40分

SR-SQ 422/444 25P：約38分

SR-SQ 422/444 29.97P：約30分

ご注意

記録・再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

カメラ部

撮像素子

PMW-F55

スーパー 35mm相当単板CMOSイメージセンサー（フレームイメージスキャン機能付き）

PMW-F5

スーパー 35mm相当単板CMOSイメージセンサー

撮像素子（画素数）

11.6M（total）、8.9M（effective）

内蔵フィルター

Clear、0.9（1/8ND）、1.8（1/64ND）

感度（2000ルクス、89.9%反射）

PMW-F55

Video Gamma：T12@24p（3200K Light source）

PMW-F5

Video Gamma：T14@24p（3200K Light source）

ISO感度

PMW-F55

S-Log2 Gamma：ISO 1250（D55 Light source）

PMW-F5

S-Log2 Gamma：ISO 2000（D55 Light source）

レンズマウント

PLマウント（レンズマウントアダプター使用）

フランジバック

FZマウント（レンズマウントアダプター未使用）

ラティチュード

14-stop

映像SN比

57 dB（Video Gamma、Noise Suppression：Off）

シャッタースピード

1/24～1/6000秒（23.98P時）

シャッターアングル

4.2°～359.7°（電子シャッター）

スローシャッター（SLS）

2、3、4、5、6、7、8フレーム

スロー&クイックモーション

XAVC 4K/QFHD：1-60P

XAVC 2K/HD：1-180P

ホワイトバランス

プリセットモード（3200K、4300K、5500K）、メモリーモード

ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18 dB

ガンマカーブ

STD1、STD2、STD3、STD4、STD5、STD6

HG1、HG2、HG3、HG4、HG7、HG8

S-Log2、S-Log3

入出力

オーディオ入力

CH-1/CH-2：XLR型3ピン（2）、凹型、
LINE / AES/EBU / MIC / MIC+48V切り換え可能

ビデオ出力

TEST OUT：BNC型（1）

DC入力

XLR型、4ピン、凸、11～17 V DC

DC出力

4ピン（2）、11 V～17 V DC（最大1.8 A）、
バッテリーアダプター使用時

DC OUT端子を経由してREC Tally信号の出力、REC Trigger信号の入力をすることが可能です。

ご注意

DC OUT端子には、消費電流が1.8 A以下の機器を接続してください。

SDI出力

BNC型（4）
3G-SDI：SMPTE ST424/425 Level-B
HD SDI：SMPTE ST292 準拠
SD SDI：SMPTE-259M 準拠

PMW-F55

HD mode：
SDI 1/2：ライン出力
SDI 3/4：モニター出力
4K mode：
SDI 1/2/3/4：ライン出力
Display On/Off可能

PMW-F5

SDI 1/2：ライン出力
SDI 3/4：モニター出力

タイムコード入出力

TC IN/OUT：BNC型（1）、切り換え可能

GENLOCK入力

BNC型（1）

リモート

8ピン（1）

HDMI出力

Type A型（1）

USB

USB device：Mini-B（1）
USB host：Type A（1）

USBワイヤレスLANモジュール接続端子

USB host：Type A（1）

ヘッドフォン出力

ステレオミニジャック（1）

スピーカー出力

モノラル

メディアスロット部

タイプ

ExpressCard/34（2）
SD card（1）

付属品

レンズマウントアダプター（1）
バッテリーアダプター（1）
オーディオ入力コネクター（1）
オーディオ入力コネクター用ネジ（4）
メジャーフック（1）
USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（1）
ご使用になる前に（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ：

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ、中東、アフリカ	http://www.pro.sony.eu
日本	http://www.sonybsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

Explorer（Windows環境）やFinder（Mac環境）を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

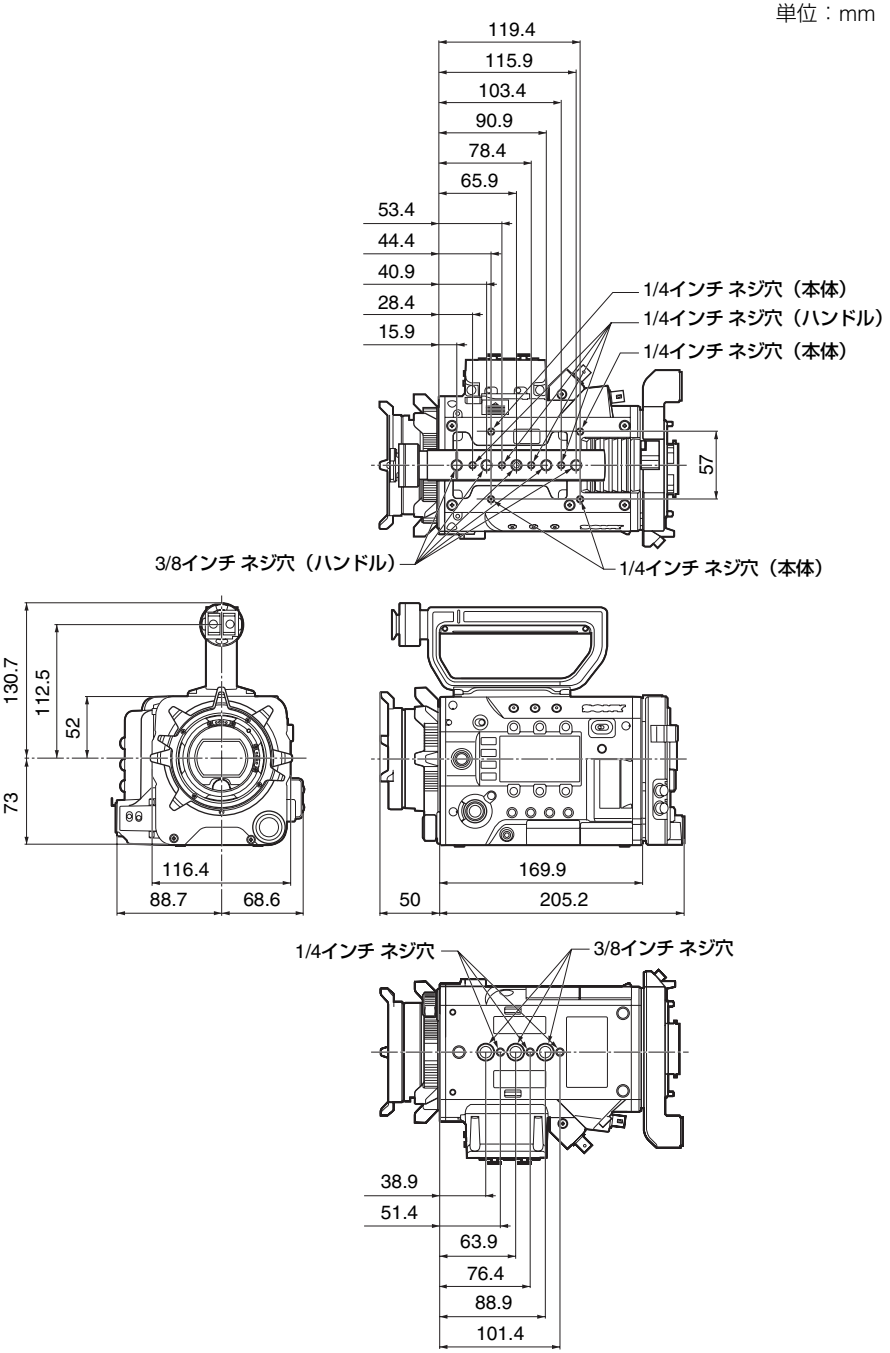
別売りアクセサリー

PLマウント広角ズームレンズ
　SCL-P11X15
PLレンズ
　SCL-PK6/F、PK6/M（6本セット、20mm/25mm/35mm/50mm/85mm/135mm）
　SCL-PK3/F、PK3/M（3本セット、20mm/25mm/135mm）
FZマウント電動ズームレンズ
　SCL-Z18X140
LCDカラービューファインダー
　DVF-L350、DVF-L700
OLEDカラービューファインダー
　DVF-EL100
マイクロホン
　ECM-680S（EC-0.5X5F3M）、ECM-678、ECM-674
ショルダーアダプター
　VCT-FSA5
バッテリーパック
　BP-FL75、BP-L80S
ACアダプター
　AC-DN2B、AC-DN10
SxSメモリーカード
　SxS PRO+シリーズ
　SxS PROシリーズ
　SxS-1シリーズ
SDカード
　SDHCメモリーカード、SDメモリーカード
ポータブルメモリーレコーダー
　AXS-R5
AXSメモリーカード
　AXS-512S24、AXS-A512S24、AXS-A1TS24
SxSメモリーカードUSBリーダー /ライター
　SBAC-US20
AXSメモリーカードリーダー
　AXS-CR1
リモートコントロールユニット
　RM-B170、RM-B750、CBK-DCB01
B4-FZマウントアダプター
　LA-FZB1、LA-FZB2
Optical 2K Filter
　CBK-55F2K
カメラシステムアダプター
　CA4000

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

外形寸法

単位：mm


119.4
115.9
103.4
90.9
78.4
65.9
53.4
44.4
40.9
28.4
15.9
1/4インチ ネジ穴（本体）
1/4インチ ネジ穴（ハンドル）
1/4インチ ネジ穴（本体）
57
3/8インチ ネジ穴（ハンドル）
1/4インチ ネジ穴（本体）
130.7
112.5
52
73
116.4
88.7
68.6
169.9
50
205.2
1/4インチ ネジ穴
3/8インチ ネジ穴
38.9
51.4
63.9
76.4
88.9
101.4

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

索引

あ行

アサイナブルボタン 45
頭出し 42
色温度 44
エラー表示 101
音声 42, 45

か行

外部同期 91
外部モニター 89
拡大フォーカス 48
カラースペース 28
感度 44
記録フォーマット 28
クリップ 43, 50, 90
クリップ名 43
警告表示 101
ゲイン 44
ゲンロック 91

さ行

撮影モード 27
サブディスプレイ 16, 53
サブディスプレイ設定項目 54
サムネイル画面 49
サムネイルメニュー 50
システム周波数 27
出力信号 95
ステータス画面 11, 18
スロー&クイックモーション 46
設定値ファイル 32
セットアップメニュー 57, 60

た行

タイムコード 45, 91
タイムデータ 45
注意・動作確認表示 102
電子シャッター 44
同時記録 47
時計 24

な行

内蔵スピーカー 42
ノンリニア編集 90

は行

バッテリーパック 22
ピクチャーキャッシュ機能 46
日付 / 時刻 24
ビデオフォーマット 95
ビューファインダー 18, 26
ビューファインダー倍速駆動機能 48
フォーマット（初期化） 30, 32, 35
フォルスカラー表示 48
フランジバック 25
ヘッドホン端子 42
ホワイトバランス 44
本線記録信号 27

ら行

レックレビュー 47
レンズ 24
録音レベル 45

A

AC アダプター 22
AC 電源 23
ACCESS ランプ 29, 32
All File 81
All Reset 88
Aperture 69
APR 83
Assignable Button 45, 86
Audio Input 71
Audio Level 71
Audio Output 71
Audio メニュー 71
Auto Exposure 64
AU/TC 画面 55
AXS Recorder 88
AXS メモリーカード 34
AXS-R5 33

B

Base Setting 84
Basic Authentication 88

Battery Alarm 87
Black 61
Black Gamma 67

C

Camera Config 84
CAMERA 画面 54
Camera メニュー 60
Clip Naming 80
Clock Set 87
CMOS イメージセンサー 93
Color Bars 65

D

DC IN 電源 23
DC Voltage Alarm 87
Detail 68
Display Clip Properties 51
Display On/Off 77

E

ExpressCard スロット 90

F

Fan Control 86
FILE 画面 55
File メニュー 81
Flare 61
Flicker Reduce 65
Format Media 80

G

Gain 61
Gamma 66
Genlock 85
GENLOCK IN 端子 91

H

HDMI OUT 端子 89, 98
Hours Meter 87

I

Image Inversion 65

K

Knee 67

L

Language 87
Lens File 82
Lens Interface 66

M

Maintenance メニュー 83
Marker 75
Matrix 69
Media Full 31
Media Near Full 31
Media メニュー 80
MENU ダイヤル 53, 57
MENU ボタン 57
Monitor LUT 73, 82
Monitor 3D LUT 82
MPEG2 Proxy 51, 79
Multi Matrix 70

N

ND フィルター 10
Noise Suppression 65

O

Offset White 60
OPTION ボタン 50
Output Display 74
Output Format 72
Output On/Off 72
Output Setting 72

P

Paint メニュー 66
Peaking 75
Picture Cache Rec 79

R

Rec Control 79
Rec Format 85
REC ボタン 42
Recording メニュー 79

S

SBAC-US20 90
Scene File 81
SD メモリーカード 32
SDHC メモリーカード 32
SDI OUT 端子 89, 95
SDI Rec Control 79
SEL/SET ダイヤル 53, 57
Shutter 63
Skin Detail 69
SLOT SELECT ボタン 30
Slow Shutter 64
Switch / Lamp 86
SxS デバイスドライバーソフトウェア 90
SxS メモリーカード 29
System Setting 84
System メニュー 84
S&Q Motion 64

T

TC Display 78
TC 端子 91
TC/UB メニュー 78
TEST OUT 端子 89, 100
Test Saw 83
Time Zone 24
Timecode 78

U

Update Media 80
USB ケーブル 90
USB ワイヤレス LAN モジュール 36
User Gamma 81
User Menu Item 81
User メニュー 58
UTC 24

V

Version 88
VF Setting 74
VF メニュー 74
Video メニュー 72

W

White 60
White Clip 68
Wi-Fi 88
Wi-Fi リモコン 37

Z

Zebra 76

付録

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/